

障がい者交流センターねむのき会館（仮称）
（本館） 改築機械設備工事

設 計 図

番 号	図 面 名	番 号	図 面 名
M ー 1	機械設備 特記仕様書（1）	M ー 26	給排水衛生設備 平面詳細図（4）
ー 2	機械設備 特記仕様書（2）	ー 27	消火設備 系統図・計算書
ー 3	機械設備 特記仕様書（3）	ー 28	消火設備 1階平面図
ー 4	配置図・案内図・凡例	ー 29	消火設備 平面詳細図
ー 5	空調設備 機器表	ー 30	給排水衛生設備 浄化槽 参考図（1）
ー 6	空調設備 配管系統図	ー 31	給排水衛生設備 浄化槽 参考図（2）
ー 7	空調設備 1階平面図（配管）	ー 32	給排水衛生設備 浄化槽 参考図（3）
ー 8	空調設備 1階平面図（ダクト）	ー 33	給排水衛生設備 浄化槽 参考図（4）
ー 9	空調設備 平面詳細図（1）	ー 34	給排水衛生設備 浄化槽 参考図（5）
ー 10	空調設備 平面詳細図（2）	ー 35	給排水衛生設備 浄化槽 参考図（6）
ー 11	換気設備 機器表		
ー 12	換気設備 1階平面図		
ー 13	換気設備 屋根伏図		
ー 14	自動制御設備 計装図（1）		
ー 15	自動制御設備 計装図（2）		
ー 16	自動制御設備 1階平面図		
ー 17	自動制御設備 平面詳細図		
ー 18	給排水衛生設備 衛生器具表		
ー 19	給排水衛生設備 衛生機器表・樹リスト		
ー 20	給排水衛生設備 配管系統図		
ー 21	給排水衛生設備 1階平面図		
ー 22	給排水衛生設備 屋根伏図		
ー 23	給排水衛生設備 平面詳細図（1）		
ー 24	給排水衛生設備 平面詳細図（2）		
ー 25	給排水衛生設備 平面詳細図（3）		



株 式 会 社 八 洲 建 築 設 計 事 務 所

機械設備工事 特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

青森市大字野尻字今田 地内

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階数			建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第 1 の区分	施設の種類	備 考
		地上	地下	塔屋				
本 館 棟	S造	1			1,034.00 ㎡	6項 (ハ)	一般の施設	
体 育 館 棟	S造	1			886.69 ㎡	6項 (ハ)	一般の施設	

3. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事)

工事種目	建物別及び屋外		工 事 種 別		屋 外
	本館棟	体育館棟			
● 空気調和設備	新築一式	新築一式			
● 換気設備	新築一式	新築一式			
○ 排煙設備					
● 自動制御設備	新築一式	新築一式			
● 衛生器具設備	新築一式	新築一式			
● 給水設備	新築一式	新築一式			新築一式
● 排水設備	新築一式	新築一式			新築一式
● 給湯設備	新築一式	新築一式			
● 消火設備	新築一式	新築一式			
○ ガス設備					
○ 厨房機器設備					
○ 雨水利用設備					
● 浄化槽設備					新築一式
○					

4. 指定部分 ○ 無 ○ 有

指定部分工期：令和 年 月 日

対象部分 ()

5. 設備概要 (●印の付いたものを適用する。)

方式及び種別	設 備 概 要
空気調和方式	○ダクト方式 (○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ●パッケージ方式
主要熱源機器	○鋼製ボイラー ○鋼製簡易ボイラー ○小型蒸気ボイラー ○簡易貫流ボイラー ○鉄製ボイラー ○鉄製簡易ボイラー ○温風暖房機 ○温水発生機 (○真空式 ○無圧式) ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ○吸収冷凍機 ○吸収冷凍温水機 ○吸収冷凍温水機ユニット ○パッケージ形空気調和機 ●マルチパッケージ形空気調和機
換気設備	●1種換気 ○2種換気 ●3種換気
排煙設備	○建築基準法 ○消防法
自動制御設備	●電気式 ○電子式 ●デジタル式
給水方式	●水道直結方式 ○水道直結増圧方式 ○高置タンク方式 ○受水タンク+ポンプ直送方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水 (●分流式 ○合流式) ポンプ排水 ○有 (○汚水 雑排水 ○湧水) ○無 放流先 汚 水 (○直放流下水管 ●浄化槽) 雑排水 (○直放流下水管 ●浄化槽)
給湯設備	●局所式 ●中央式
消火設備	●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○粉末消火設備 ○不活性ガス消火設備 (○) ○連絡送水管設備 ○連絡放水設備 ○ロード等用簡易自動消防装置 ●消火器
ガス設備	○都市ガス (種別)、高位発熱量 MJ/m3 (N)、低位発熱量 MJ/m3 (N)、 供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名：) ○液化石油ガス

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定「公共建築設備工事標準図面(機械設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準図」という。)による。

2. 特記仕様

●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

●印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一般共通事項	○ 1. 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定は次の条件による。 ○ 風圧力 風速 (Vo＝ m/s)、地表面粗度区分 () ○ 積雪荷重 平成12年 建設省告示第1455号における区域 別表 ()
	● 2. 機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。
		別 表 (品質及び性能に該当する材料・機材等)
		鋼製簡易ボイラー 鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー 真空式温水発生機(鋼製・鉄製) 無圧式温水発生機(鋼製・鉄製) チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット マルチパッケージ形空気調和機 吸収冷凍温水機ユニット 遠心冷凍機 冷却塔 ユニット形空気調和機 パッケージ形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 g/メソッド®ｼﾝｸﾞ式空気調和機 h/ﾙｰﾊﾟｰ 形折込み形 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器 全熱交換器(回転形・静止形) 遠心送風機(多翼形送風機) 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機 機形遠心ポンプ 水中モーターポンプ(汚水用、雑排水用、汚物用) 立形遠心ポンプ 風量ユニット(定風量・変風量) 自動制御システム 衛生器具ユニット 密閉形隔膜式断張タンク(空調用、給湯用) F R P製バネルタンク ステンレス鋼板製バネルタンク(溶接組立形) ステンレス鋼板製バネルタンク(ボルト組立形) スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム 厨房システム マンホールふた・井欄ふた

一般共通事項	● 3. 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。																																															
	● 4. 環境への配慮	(1) 本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和8年2月閣議決定)」による特定調達品目の判断の基準を満たす環境物品等を選択するよう努める。ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーテックボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジメチル及びフタル酸ジエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しないか、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。																																															
	● 5. 足場その他	※ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。(国参照) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2.1の手すり置方式又は2.2の手すり専用足場方式等により行う。																																															
	● 6. 埋戻し土及び盛土	イ) 管周囲の保護 ※ 山砂の類(ただし、コンクリート管の周囲は根切り土の良質土) ロ) 埋戻し土及び盛土 ※ 根切り土の中の良質土 ○ 山砂の類																																															
	● 7. 容量等の表示	(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。																																															
	● 8. 電源周波数	50 Hzとする。																																															
	● 9. 電動機	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてもよい。																																															
	● 10. 耐震施工	(1) 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。 ① 設計用水平地震力 機器の重量[kN](水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量)に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr> <tr> <th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階・ 屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr> <tr> <td>水槽</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>水槽</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td rowspan="4">地階・1階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>水槽</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> </tbody> </table> ・上層階とは地階を除く2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 ・水槽類にはオイルタンクを含む。 ・重要機器は次による。 [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号] [名称]、[記号]	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階・ 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	防振支持の機器	2.0	2.0	1.5	水槽	2.0	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0	水槽	1.5	1.0	0.6	地階・1階	機器	1.0	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	0.6	水槽	1.5	1.0
機器種別	特定の施設			一般の施設																																													
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																													
上層階・ 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5																																													
	防振支持の機器	2.0	2.0	1.5																																													
	水槽	2.0	1.5	1.0																																													
中間階	機器	1.5	1.0	0.6																																													
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0																																													
	水槽	1.5	1.0	0.6																																													
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.4																																													
	防振支持の機器	1.0	1.0	0.6																																													
	水槽	1.5	1.0	0.6																																													
	● 11. 総合試運転調整	② 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とする。 ③ 機器類および支持架台固定用定のワッシャーの選定は座屈防止を十分検討する。 (2) 1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計算書提出する。 各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書を提出する。 ●風量調整 ●水量調整 ●室内外空気の温湿度の測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音測定 ○水質の測定(○飲料水 ○雑用水(※本工事に費用は含まない))																																															
● 12. 弁等のサイズ	13. 建物導入部 配管の変異吸収	特記されない以外弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。 図示の箇所に施工する。 施工方法は「標準図」建築物導入部の変位吸収配管要領(一)、(二)による。 (○(a) ○(b) ○(c))																																															
	○ 14. 絶縁経手取付箇所	取り付け箇所及び仕様は図示による。																																															
	● 15. 支持及び固定	標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠ぺい形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとす。																																															
	● 16. 支持金物・固定金具	イ) ボンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製(SUS304)とする。 ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 ハ) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。 ニ) 冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレートで、断熱材被覆銅管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。																																															
● 17. 地中埋設構等		(1) 地中埋設構(図示の位置) ※要 ○不要 (2) 埋設表示テープ(排水管を除く) ※要 ○不要																																															
	● 18. 配管	(1) ステンレス鋼管の接合は下記による。 ※呼び径60Su以下(〇AS322を満足した継手(拡管)式 ○) (2) 溶接部の非破壊検査 ※要 ○要 (3) 呼び径50以下の鋼管のねじ加工は原則として転造ねじ加工とする。 ただし樹脂ライニング鋼管(ポリ粉体鋼管を除く)のねじ加工は切削ねじ加工とする。 (4) 排水管の90°曲管は原則として大曲管とする。																																															
● 19. 技能士の適用		●配管施工(配管工事) ●建築板金施工(ダクト製作及び取り付け) ●熱絶縁施工(保温工事) ●冷凍空調調和機器施工(リリングユニット、パッケージ型空調調和機の据付け及び整備)																																															
	● 20. 他工事との工事区分	工事区分表による。																																															

一般共通事項	○ 21. 塗装	(1) ○ 保温を行わない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管(網管)ダクトには塗装を行う。 ○ 図示による。 (2) 露出金属電線管は次の部分の塗装を行う。 ○ 屋外架空部 ○ 機械室 ○ 屋内一般																																																					
	● 22. 電線類	電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1による。																																																					
	● 23. 案内板等	機器等の取扱い方法及び系統を書いた図面呼称A1の図面(枚)をプラスチックケースに入れ、監督職員の指示する場所に設置する。 屋外に設置する危険物表示板等の材質はアルミニウム製とする。																																																					
	● 24. 監視・制御システムのサイバセキティ	外部ネットワークと接続する制御システム ○ あり(対象設備) ● なし 外部ネットワークとの接続する箇所の不正アクセス防止対策 ○ ファイアウォール ○ 統合脅威管理(UTM) 盤・キャビネットの錠の鍵 ● 製造者の標準鍵 ○ 鍵の指定あり 対策機器(○監視盤 ○自動制御盤 ○)																																																					
空調設備	● 25. 保温外装	(1) 屋内露出の保温外装は、合成樹脂カバー2とする。 (2) 床下暗室内(ビット内を含む)の保温に使用する着色アルミガラスクロスの外装色の分類は、以下を標準とする。 <table border="1"> <tr><th colspan="2">外装色</th></tr> <tr><td>消火管</td><td>白系</td></tr> <tr><td>給水管</td><td>青系</td></tr> <tr><td>給湯管</td><td>黒系</td></tr> <tr><td>冷水・冷温水管</td><td>緑系</td></tr> <tr><td>温水・蒸気管</td><td>赤系</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	外装色		消火管	白系	給水管	青系	給湯管	黒系	冷水・冷温水管	緑系	温水・蒸気管	赤系																																									
外装色																																																							
消火管	白系																																																						
給水管	青系																																																						
給湯管	黒系																																																						
冷水・冷温水管	緑系																																																						
温水・蒸気管	赤系																																																						
○ 26. 計器類	(1) 熱源機器には、個々に地震感知器を付属する。 (2) 圧力計、遠成計、水高計及び電流計等の計器類には、正常値を示す赤指針を設ける。																																																						
● 27. 土工事	(1) 配管は下記による。 <table border="1"> <tr> <th>埋設深さ(m)</th><th>土工事区分</th><th>埋戻し用土</th></tr> <tr> <td>構内一般</td><td>構内車路</td><td>機械土</td><td>人工土</td><td>掘削土</td><td>寄土</td></tr> <tr> <td>給水管</td><td>0.6</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr> <tr> <td>排水管</td><td></td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr> <tr> <td>ガス管</td><td></td><td>※</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>消火管</td><td></td><td>※</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>油管</td><td></td><td>※</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> (2) 公道部は、水道事業者、下水道事業者、ガス供給事業者及び道路管理者規定による。 (3) 設計図書に示された配管工事で埋設深さが1,500mmを超える場合は、図示による方法で土留めを行う。 (4) 土中埋設配管は、配管下100mm・配管上100mmを山砂等で埋戻す。 (5) 残土(発生土を含む)処理 ※ 構内指示の場所に敷き均し ○ 構内指示の場所に堆積 ○ 構外搬出適正処理: ※ 本工事(約 km(搬出調査等を提出する)) ○ 別契約工事	埋設深さ(m)	土工事区分	埋戻し用土	構内一般	構内車路	機械土	人工土	掘削土	寄土	給水管	0.6	※	●	●		排水管		※	●	●		ガス管		※	○			消火管		※	○			油管		※	○																	
埋設深さ(m)	土工事区分	埋戻し用土																																																					
構内一般	構内車路	機械土	人工土	掘削土	寄土																																																		
給水管	0.6	※	●	●																																																			
排水管		※	●	●																																																			
ガス管		※	○																																																				
消火管		※	○																																																				
油管		※	○																																																				
○ 28. 貫通部の処理	標準仕様書によるほか、冷温水管及び蒸気配管の貫通部には、轄管を入れ隙間を断熱材等で埋める。																																																						
空気調和設備	● 1. 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th><th rowspan="3"></th><th colspan="2">外気条件</th><th colspan="4">屋内(調整目標)</th></tr> <tr> <th rowspan="2">温度(DB)</th><th rowspan="2">湿度(RH)</th><th colspan="2">一般系統</th><th colspan="2">アリーナ系統</th></tr> <tr> <th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th></tr> <tr> <td rowspan="4">夏季</td><td>9時</td><td>29.5℃</td><td>66.9%</td><td rowspan="4">26℃</td><td rowspan="4">成行 %</td><td rowspan="4">28℃</td><td rowspan="4">成行 %</td></tr> <tr> <td>12時</td><td>31.8℃</td><td>59.4%</td></tr> <tr> <td>14時</td><td>31.8℃</td><td>60.8%</td></tr> <tr> <td>16時</td><td>31.0℃</td><td>62.9%</td></tr> <tr> <td colspan="2">冬季</td><td>-5.4℃</td><td>74.7%</td><td>22℃</td><td>成行 %</td><td>15℃</td><td>成行 %</td></tr> </table> 熱源機器の水温度条件 <table border="1"> <tr> <td>送水温度</td><td>℃</td><td>℃</td><td>℃</td><td>℃</td></tr> <tr> <td>出入口温度差</td><td>℃</td><td>℃</td><td>℃</td><td>℃</td></tr> </table>			外気条件		屋内(調整目標)				温度(DB)	湿度(RH)	一般系統		アリーナ系統		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏季	9時	29.5℃	66.9%	26℃	成行 %	28℃	成行 %	12時	31.8℃	59.4%	14時	31.8℃	60.8%	16時	31.0℃	62.9%	冬季		-5.4℃	74.7%	22℃	成行 %	15℃	成行 %	送水温度	℃	℃	℃	℃	出入口温度差	℃	℃	℃	℃
		外気条件			屋内(調整目標)																																																		
		温度(DB)			湿度(RH)	一般系統		アリーナ系統																																															
			温度(DB)	湿度(RH)		温度(DB)	湿度(RH)																																																
夏季	9時	29.5℃	66.9%	26℃	成行 %	28℃	成行 %																																																
	12時	31.8℃	59.4%																																																				
	14時	31.8℃	60.8%																																																				
	16時	31.0℃	62.9%																																																				
冬季		-5.4℃	74.7%	22℃	成行 %	15℃	成行 %																																																
送水温度	℃	℃	℃	℃																																																			
出入口温度差	℃	℃	℃	℃																																																			
○ 2. ばい煙濃度計	取付箇所は図示による。																																																						
○ 3. 顕微鏡煙道	板厚は煙道径300mm以下は3,2mm、300mmを超えるものは4,5mmとする。煙道を設置する場合、ばいじん測定口(口径100φ、タッピング)を設ける。(煙道径400mmを超えるものには、排除口に蝶番を取り付ける。)																																																						
● 4. ダクト	※ 低圧ダクト (長方形ダクトは ※ コーナポルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○ アングルフランジ工法) ○ 高圧1ダクト(適用範囲は図面による) 取付箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。 1) 防煙ダンパー 復帰方式 遠隔式 (定格入力DG24V、0.7A以下とする。) 2) ピストンダンパー 復帰方式 遠隔式 ※ 5K 呼び径65A以上の弁はバタフライ弁とする。 ステンレス鋼管に取り付ける弁類はステンレス製とする。 冷温水コイル及び蒸気加熱コイル廻り(標準施工38・42)の弁は仕切弁とする。																																																						
空調設備	○ 5. 風量測定口	取付箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。																																																					
	○ 6. ダンパー	1) 防煙ダンパー 復帰方式 遠隔式 (定格入力DG24V、0.7A以下とする。) 2) ピストンダンパー 復帰方式 遠隔式																																																					
	○ 7. 弁類	※ 5K 呼び径65A以上の弁はバタフライ弁とする。 ステンレス鋼管に取り付ける弁類はステンレス製とする。 冷温水コイル及び蒸気加熱コイル廻り(標準施工38・42)の弁は仕切弁とする。																																																					
	○ 8. 鋼管用伸縮管継手	○ ベローズ形 ○ スリーブ形																																																					
空調設備	○ 9. 温度計	円形指示計とする。																																																					
	○ 10. 瞬間流量計	止水コック付とする。(※ 固定形 ○ 着脱形) 着脱形の流量指示部(○ 40A用 個、○ 100A用 個、○ 250A用 個)を付属する。																																																					
	● 11. チャンバー	イ)内貼を施すチャンパー類の表示寸法は、外形寸法を示す。 ロ)空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系統で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 ハ)外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水滞留のないよう施工する。																																																					
	● 12. 保温	イ)蒸気遠り管は保温不要とする。(屋内露出は除く) ロ)屋外露出管(弁、フランジを含む)の保温は、標準仕様書第2編3.1.4表2.3.3 2・(ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ハ)蒸気ダクトの保温 ※ 不要 ○ 要(保温の厚さ25mm、範囲は図示による) ニ)外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※ 要 ○ 不要 ホ)排気ダクトは外壁開放部より1m程度を保温する。(チャンパーボックスを含む) ヘ)冷媒管の保温外装 居室露出部 ※ 保温化粧ケース(樹脂製) 屋 外 ※ 保温化粧ケース(樹脂製) ● 保温化粧ケース(※ 亜鉛めっき鋼板製 ● SUS製)																																																					

空調設備	ト)建物内のエア抜き管の保温はエア抜き弁(エア抜き弁を含む)までとし、仕様は標準仕様書の冷温水管の項による。 チ)高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚さ：mm リ)温水暖房のパネルヒーターへの屋内露出管 ○ 施工する ※ 施工しない ヌ)蒸気管の保温 暖房する室の暖房用蒸気立て管(主管を除く)及び分枝管： ○ 施工する ※ 施工しない ● 13. 塗装 次の部位に使用するダクトには塗装を行う。 ○ 制気口ボックス内面(居室・便所の見えかきり部) ○ 図示による ● 14. 消音内貼り 吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは図示による。 ● 15. 緊急遮断弁 オイルサーピスタंकに設置する緊急遮断弁は、停電時に閉じるものとする。 ● 16. 注油口及び指示ボックス ○ 単独形 ○ 共用形(○ 油量指示計 ○ ローリーアース) ● 17. カセット形ファンコイルユニット(風量分配ダクト) ※ 垂鉛鉄板 ○ 自己消火性のポリスチレンフォーム製 ○ ● 18. 温水パネルヒーター ※ 鋼板製 ○ アルミ製 ○ ● 19. 電気パネルヒーター (1) ケーシングはステンレス製とする。 (2) 便所に設置する場合は、いたずら防止カバー付とする。
換気設備	● 1. 準拠事項 [空気調和設備の当該事項に準ずる。] ●ダクト ○風量測定口 ●ダンパー ○チャンバー ●塗装 ● 2. 開放形湯沸器用排気フード ○別契約工事 ○本工事 ● 3. 厨房用排気ダクト アングルフランジ工法とする。 ○垂鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 (SUS304) (板厚は空調1の厨房排気ダクトの板厚表による) ● 4. 厨房用排気フード イ) 材質(天幕とも) ○ステンレス鋼板 (SUS304) ○ ロ) フード周囲の天幕 (フード面から天井面まで) ○取り付ける ○取り付けない ハ) フードコック ○取り付ける ○取り付けない ● 5. 多湿箇所の排気ダクト イ) 厨房系統、浴室系統(シャワー室及び脱衣室を含む)のダクトのシールは「標準図」シールの施工例(一)、(二)のNシール+Aシール+Bシールとする。 ロ) 水抜き管 ○ 要 ○ 不要 ● 6. 保温 全熱交換器(空調換気扇)の外気取入れダクト(OA)、給気ダクト(SA)及び排気ダクト(EA)はすべて保温する。 ● 7. 換気扇類 換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガード付とする。 ● 8. 給排気口 外壁に設置するベントキャップ、ウェザーカバー等には、給気用に防虫網、排気用に防鳥網を取り付ける。
排煙設備	● 1. ダクト ○垂鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm) ● 2. 排煙口の形式 ○パネル形 (○天井取付 ○壁取付) ○スリット形(○天井取付 ○壁取付) ○ダンパー形(○天井内取付 ○) ● 3. 排煙口開放及び復帰方法 ○電気式 (遠隔操作 ○要 ○不要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による耐熱・耐火ケーブルとする。 ● 4. 排煙風量測定方法 建築設備定期検査業務基準書2023年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。
自動制御設備	● 1. システム構成その他 別図による。 ● 2. 計装用配線 電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいケーブルは、図面に特記がなければころがし配線とする。 ● 3. 電動弁 開閉状態の遠方表示用接点を ○設ける ○設けない。 ● 4. 弁耐圧 MPa ● 5. その他 (1) 室内温湿度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。 (2) 電動機用電流計は延長目盛電流計とし、赤指針付きとする。
衛生器具設備	● 1. 衛生器具ユニット 別図による。 ● 2. 身障者用洗浄弁 ※ センサー式 ● タッチスイッチ式 ○ くつべら式押しボタン ● 3. 大便器用便座 ※ 温水洗浄便座： 加熱方式： ● 貯湯式 ○ 瞬間式 付加機能： ※ 節電機能 ※ 脱臭機能 ○ 温風乾燥機能 ○ 擬音装置 ● リモコン 温水洗浄便座への給水は市水を接続する。 ○ 暖房便座(○ 脱臭機能付 ○ 擬音装置付) ○ 普通便座 ● 4. 注記版 ※ 設けない ○ 設ける(※ 陶器製 ○ 樹脂製) 対象器具は図示による。

給 水 設 備	● 1. 量水器	● 親メーター（※ 貸与品 ○ 買取り） （○ 現地表示式（直読式） ○ 遠隔表示式（○ 電文式 ○ バルス式）） ○ 子メーター（○ 貸与品 ※ 買取り） （○ 現地表示式（直読式） ○ 遠隔表示式（○ 電文式 ○ バルス式））	○ 1. 熱調理器の熱源 ○ 2. 厨房機器類 ○ 3. 厨房システム ○ 4. 付属制御盤 ○ 5. 付属品（弁類）	○ ガス ○ 電気 イ）仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。 ロ）厨房機器据付け要領は「標準図」厨房機器据付け要領による。 ※ ドラインシステム ○ ウェットシステム ○ セミドライシステム 機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。 JISB2011:2003又はJV同等性能品 ○ 5K ※ 10K	厨房機器設備	雨水利用設備	○ 1. システム構成その他 ○ 2. 量水器 ○ 3. 弁 類	別図による。 ○ バルス式 ○ 直読式 図面に特記なき場合は、JIS又はJVSKとする。
	● 2. 量水器樹	イ）親メーター用 ● 水道事業者指定品 ○ 「標準図」量水器樹 ロ）子メーター用 ○ 水道事業者指定品 ○ 「標準図」量水器樹	○ 1. 特記事項	※ 県が別に定める仕様書による。 ○ 下記による （1）処理能力 対象人員 150人 BOD濃度 20mg/L BOD除去率 90%以上 （2）流入負荷 汚水量 26 m ³ /日 BOD濃度 200 mg/L （3）処理方式 ● 小規模合併処理（告示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は建築基準法施行令第35条1項の大臣認定） ○ 合併処理（告示区分第2、第3、第6の処理方式） （4）主要構造 ● ユニット形（FRP製） ○ 現場施工形 設置スペース 約 12.15 L× 3.50 W （5）総電気容量 3 相× 200 V× 3.0 kW （6）ばっ気槽用送風機 イ）屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に設置する。 ロ）送風機にはケーブル（ビニルキャブタイヤケーブル）を約 10 m付属する。 ハ）送風機を2基設置する場合タイマーによる自動交互運転とする。 （7）流入側 イ）流入管底 設計GL－1.83 m ロ）浄化槽本体への自然流下方式（必要な場合はポンプアップ方式とする） （8）放流側 イ）浄化槽本体よりの自然放流可能管底 設計GL－ m ロ）浄化槽本体よりの自然放流方式（必要な場合はポンプアップ方式とする） （9）排気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 （10）ポンプ 流入用並びに放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時運転とする。 （11）制御盤 ● 製造者標準品 ○ 標準仕様書による （● 漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける） （12）マンホール ○ 製造者標準品安全荷重（○ 5 ● 15 ○ 50kN 以上とする） ○ 「標準図」マンホールふた（○ MHB ○ MHA ○ MHD） （13）装置耐荷重 耐荷重はマンホール安全荷重による。 （14）土工事 ※土工事は建築工事 イ）基礎杭 ○ 要（○ 本工事 ○ 別途） ○ 不要 ロ）基礎コンクリート ○ 要（○ 本工事 ○ 別途） ○ 不要 ハ）根切り ○ 本工事 ○ 別途 ニ）埋戻し ○ 本工事 ○ 別途 ホ）躯体（現場施工形の場合） ○ 本工事 ○ 別途 ヘ）山留め ○ 要（○ 本工事 ○ 別途） ○ 不要 ト）水替え（自然水位GL－ m） ○ 要（○ 本工事 ○ 別途） ○ 不要 チ）残土処分 ○ 横外搬出 ○ 敷き均し （15）消毒剤 30日分を納入する。 （16）水質表示等の提出 一定期間定常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 （17）フローシート 合成樹脂製パネル（厚さ5mm以上、文字は彫り込み）を取り付ける。 （18）消泡装置 ノズル式又は消泡剤式とする。				
給 湯 設 備	● 3. 弁類	イ）水道直結部分 ※ 10K ロ）その他の部分 ※ 5K ハ）呼び径65A以上の弁は、バタフライ弁とする。 ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 ※ 化粧ケーシング（※ アルミニウム合金製 ○ 合成樹脂製） ● 伸縮式 イ）屋内（○ 一般水栓 ● 耐寒水栓） 屋外（● 耐寒水栓 ○ 一般水栓） ロ）湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。耐寒水栓はJWWAの認証品とする。 イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない （1）自動交互並列運転とする。 （2）24時間強制ローテーション機能： ※ 付加する ○ 付加しない （1）FRP製タンクのタンク天板（点検用蓋を含む） ※ 複合板 ○ 複合板としない （2）タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛めっき仕上げとする。 （3）吐水配管（受水槽）の給水用緊急遮断弁 ※ 設けない ○ 設ける SUS製とし、鍵付とする。 ○ 要（○ 本工事 ※ 別途） ● 不要 給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。	● 1. 特記事項		浄 化 槽 設 備	● 1. 特記事項		
	○ 7. 小形給水ポンプユニット	イ）親メーター用 ● 水道事業者指定品 ○ 「標準図」量水器樹 ロ）子メーター用 ○ 水道事業者指定品 ○ 「標準図」量水器樹	○ 1. 特記事項					
排 水 設 備	○ 8. 水槽	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 9. 壁埋込形散水栓ボックス	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	● 10. 引込納付金等	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	● 11. その他	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	○ 1. 満水試験継手	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	● 2. 台所流し等の排水管	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	● 3. インポート樹	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	● 4. ため樹	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	● 5. 樹脂製樹	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	● 6. 雨水樹	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	● 7. グリース阻集器	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 8. 間接排水	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	● 9. 試験	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	● 10. 放流納付金等	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	● 11. その他	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 1. 弁類	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	○ 2. 保温	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 3. 貯湯槽	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
給 湯 設 備	● 4. 貯湯式電気温水器	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	● 5. 湯水混合栓	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
消 火 設 備	● 1. 屋内消火栓種別	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 2. 屋内消火栓開閉弁	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
消 火 設 備	● 3. 保温	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 4. 不活性ガス消火設備	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
消 火 設 備	○ 5. 泡消火設備	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 6. 屋外消火栓ボックス	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
消 火 設 備	○ 7. その他	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 1. 親メーター	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
ガ ス 設 備	○ 2. 子メーター	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 3. ガスボンベ	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
ガ ス 設 備	○ 4. ガス漏れ警報器	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
	○ 5. 埋設深さ	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					
ガ ス 設 備	○ 6. 緊急遮断弁	イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項		● 1. 特記事項			
		イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5e2・ウとし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない	○ 1. 特記事項					

工 事 区 分 表（他工事との取合い等）																	
項 目										A	E	M	EV	備 考			
躯体関係										仕上げ関係							
1. RC造 （梁・壁・床）の 貫通孔・ 開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け									○	○	○	○				
	補強を要する型枠材及び取付け									○							
	補強を要しない型枠材及び取付け									○	○	○	○				
	貫通孔・開口部の墨出し									○	○	○	○				
	貫通孔・開口部の補強									○							
2. S・SRC造の 梁貫通孔	スリーブ・型枠の穴埋め									○	○	○	○	防火区画、防煙区画			
	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強									○							
	使用されたスリーブの穴埋め									○	○	○	○	防火区画、防煙区画			
予備スリーブの穴埋め										○	○	○	○	防火区画、防煙区画			
3. 設備機器 の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）									○							
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）										○	○					
	屋外・屋上の基礎									○							
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの										○	○					
	機器取付け用アンカー・架台										○	○					
4. 昇降機関連	屋内受水タンク用の基礎									○							
	太陽電池アレイ用架台（支持金物）									○	○	AとEの区分は図示					
	機械室・昇降路の躯体									○							
	機械室の床開口									○							
	機械室の床配管ビット・ふた									○							
5. その他	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上									○							
	機械室・昇降路内換気設備											○					
	巻上機周囲のチェッカープレート敷												○				
	昇降路内ビット防水・集水桝									○							
	点検用タラップ												○				
6. 便所まわり	各階出入口穴あけ・同補強									○							
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修												○				
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材									○							
	出入口扉・三方枠及び幕板												○				
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨									○							
7. プリーツ・ガラス	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、 他昇降路内の鋼製部材一式												○				
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けピース									○							
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）									○							
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口									○							
	点検用コンセント・煙感知器											○					
8. 電気設備	EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、 非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事									○							
	EV制御盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホン までの配管・配線工事												○	監視カメラ及び インターホン含む			
	監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの 配管・配線工事											○	電気設備のモニター装置 に映像を表示する場合				
	EV警報盤又はEV監視盤までの保守連絡監視用（電話回線）の 配管工事											○					
	EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管・配線工事											○					
9. その他	EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及び インターホンの配管・配線工事												○				
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事												○				
	トラフ・ビット類（満水・汚水）・RC造各種水槽									○							
	同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等									○							
	雷保護設備・同接地工事										○						
10. 衛生	ALC板の壁開口・補強									○							
	厨房排水溝									○							
	厨房グリース阻集器											○					
	オイルサービスタンクの防油堤									○							
	フリーアクセスフロア内の防水堤									○							
既設埋設配管配線調査（X線探査含む）										○	○	○					
この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった 施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付 しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的 工事内容を示すものではないことに留意すること。																	
空調 1 厨房排気ダクトの板厚																	
空調 2 厨房設備に付属する排気フードの板厚																	
衛生 1 排水配管接続口径																	
器具名称																	
接続配管口径																	
和風大便器																	
洋風便器																	
壁掛小便器																	
壁掛ストール小便器																	
ストール小便器																	
手洗器																	
洗面器																	
掃除流し																	
汚物流し																	

■ 建築設備（昇降機をのぞく。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。

□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とする。

□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを 5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造、若しくはコンクリートブロック造とすること。

■ 構築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

■ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

■ 給湯設備はH12建告第138号に準じ転倒防止の措置を施す。

（耐食するおそれのある部分及び当該部分の材料に応じ腐食防止のために講じた措置）

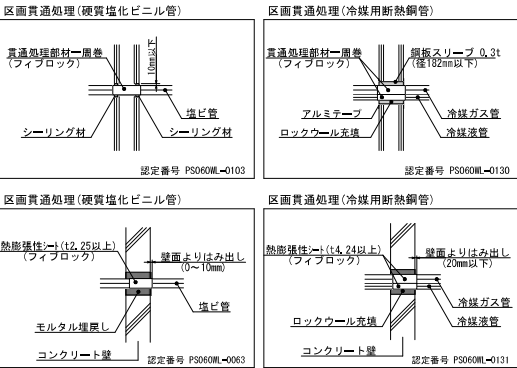
- ・腐食防止のため樹脂管及び外面被覆管を使用。

（給水管の凍結による破損のおそれのある部分及び当該部分に講じた凍結のための措置）

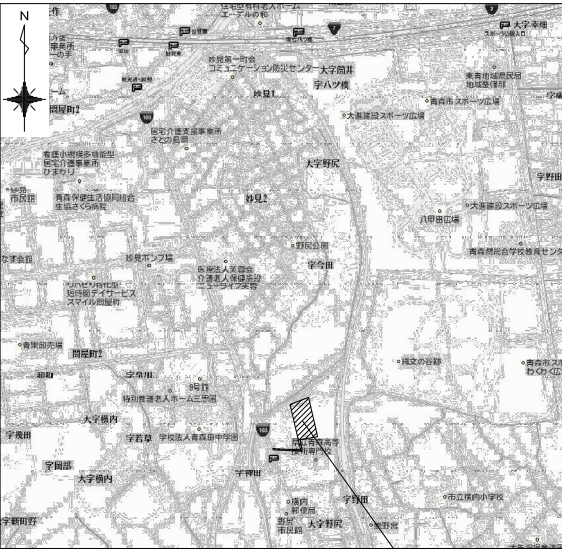
- ・屋外の埋設管は凍結深度以下とし、水抜栓を設置している。

（給水管に講じたウォーターハンマー防止のための措置）

- ・管径を大きくして流速を小さくする。なお、現状調査のうえ関係ないことを確認している。

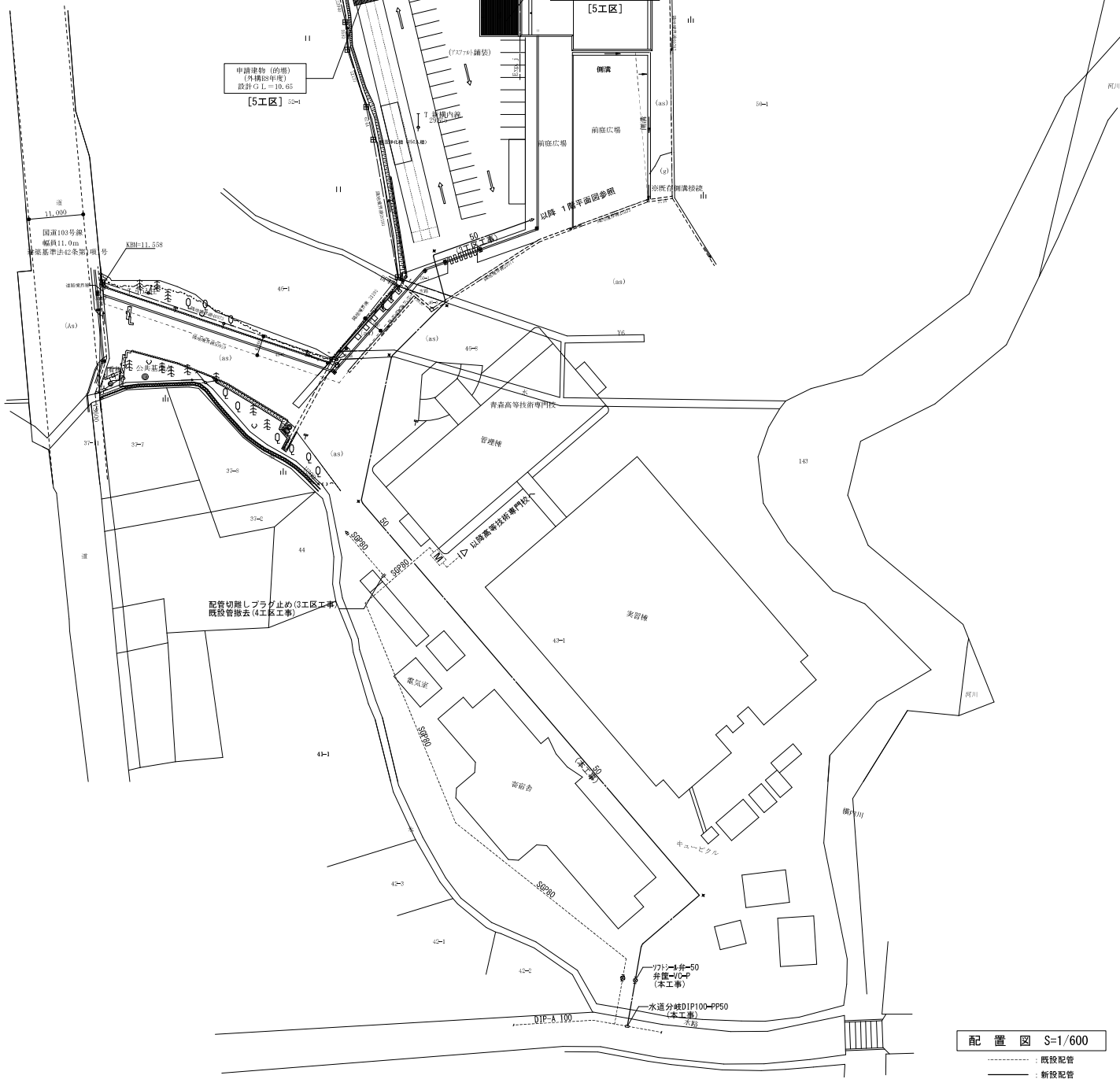


案 内 図



工事場所：障がい者センターねむのき会館（仮称）
青森市大字野尻字今田 地内

凡 例			
名 称	記 号	摘 要	備 考
給 水 管	----	一般 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)	※水抜管はピット内保温なし 75A以上はPE管
水 抜 管	----	埋設・ビット 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)	
屋 外 水 抜 管	----	水道用ポリエチレン管 (PP)、配水用ポリエチレン管 (PE)	
給 湯 管	----	一般 ステンレス鋼管 (SUS、拡管)	※保温厚 30mm以上
通 湯 管	----	ビット ステンレス鋼管 (SUS、拡管)	
汚 水 排 水 管	----	一般 押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VP)、耐火二層管 (FVDV)	
埋 設・ビ ッ ト	----	押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VP)	
屋 外 埋 設・ビ ッ ト	----	押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VU)	
雑 排 水 管	----	一般 押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VP)、耐火二層管 (FVDV)	
埋 設・ビ ッ ト	----	押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VP)	
屋 外 埋 設・ビ ッ ト	----	押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VU)	
雨 水 排 水 管	----	一般 配管用素鋼鋼管 (SGP-白)	
埋 設・ビ ッ ト	----	硬質塩化ビニル管 (VP)	
屋 外 埋 設・ビ ッ ト	----	硬質塩化ビニル管 (VU)	
排 水 通 気 管	----	一般 押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VP)、耐火二層管 (FVDV)	
埋 設・ビ ッ ト	----	押付けリシフト化 ^① 24号池三層管 (RS-VU)	
消 火 栓 管	----	一般 配管用素鋼鋼管 (SGP-白)	
冷 媒 管	----	一般 断熱被覆鋼管 (断熱QUP)	
屋 外 冷 媒 管	----	上記配管に化粧ダクトを施す。	
空 調 用 排 水 管	----	一般 耐火二層管 (FVDV)	
ビ ッ ト	----	硬質塩化ビニル管 (VP)	
換 気 ダ ク ト	----	一般 鋼板製スパイラルダクト 鋼板製長方形ダクト (共振フランジ)	
仕 切 弁・逆 止 弁	○●	給 水 青銅製 (管径37付)・鉄製 (50付) JIS10K	
	○●	給 湯 ステンレス製 JIS10K	
	○●	消 火 青銅製・鉄製 JIS10K	
	○●		
フレキシブル継手	○●	[図示による]	
水 抜 栓	○●	[図示による]	
床 上 掃 除 口	○●	[図示による]	
排 水 金 物	○●	[図示による]	
水 栓 類	○●	[衛生器具表による]	
排 水 樹・雨 水 樹	○●	[樹リストによる]	
地 中 埋 設 標	○●	コンクリート製・鉄製	
電 動 ダ ン パ ー	○●	[図示による]	
ダ ン パ ー 類	○●	[図示による]	
吹 出 口・吸 込 口	○●	[図示による]	
特 記 事 項			
1. 上下水道工事に於いては、青森市水道事業審議会及び下水道部に準拠する。			
2. 図面記載品番を参考とし、同等以上の仕様及び能力を有する機器・器具を使用する。			
3. 給水設備の仕切弁・逆止弁及びスレーナ等において、50A以下は青銅製管端コア付バルブを使用する。			
4. 電動三方水抜栓の操作部の取付・配線は自動制御設備工事にて行う。			
5. 耐火二層管は、繊維補強モルタル（非アスベスト）被覆硬質塩化ビニル管とし、目地充填は湿式工法にて行う。			
6. 塩ビ製インポート樹皮及び雨水樹は、排水樹協会若しくはプラスチックマンホール協会の規格品とする。			
7. 雨水排水は外部側溝（建築工事）に放流とする。			
8. 防護蓋を使用する際には樹皮製蓋を使用し、クサリ付とする。			
9. 浄化槽の土工事・コンクリート工事は建築工事とする。			
10. 空調設備に於いては、空調機器製造者の指導・監督の基に施工及び調整（真空引き・冷媒補充充填を含む）を行う。			
11. 樹皮基礎は建築工事とする。			
12. 全熱交換ユニット・エアコンのコントロールスイッチ及びリモコンの取付・配線、電動ダンパー運動は自動制御設備工事にて行う。			
13. 換気扇のスイッチの取付・配線及び機器運動は電気設備工事にて行う。			
14. 天井・床点検口及び天井開口（開口補強を含む）は建築工事とする。			
15. 防火区画を貫通する配管には区画貫通処理を施す。			



配 置 図 S=1/600

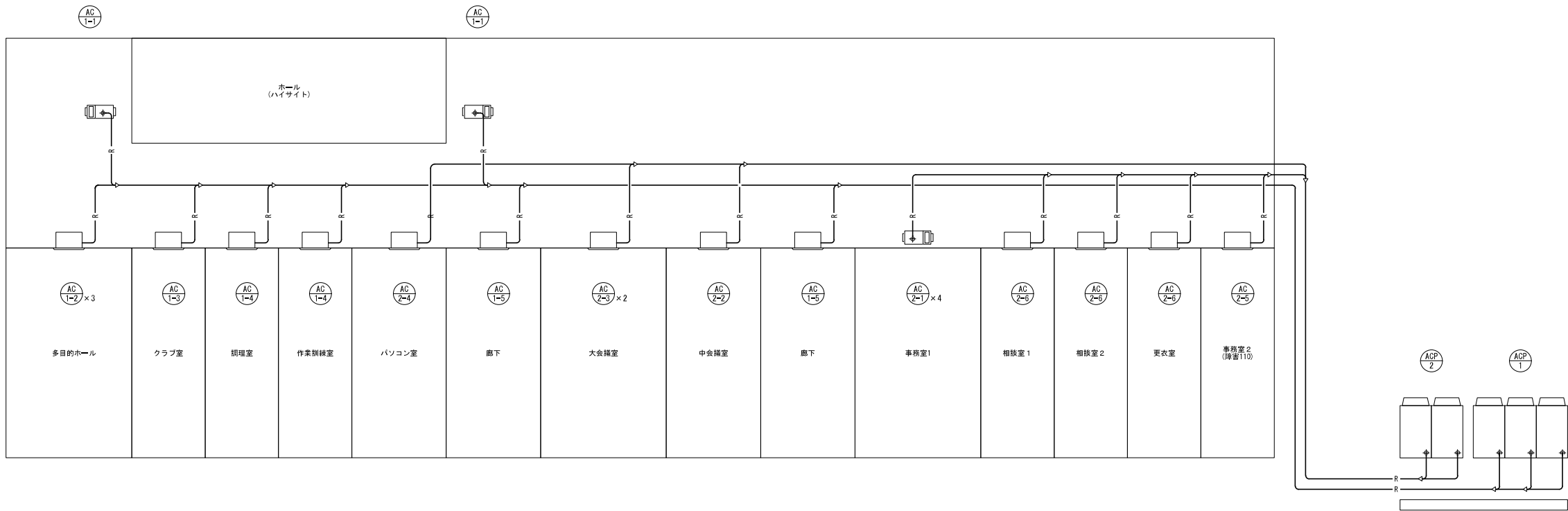
--- 既設配管
— 新設配管

空 調 機 器 表

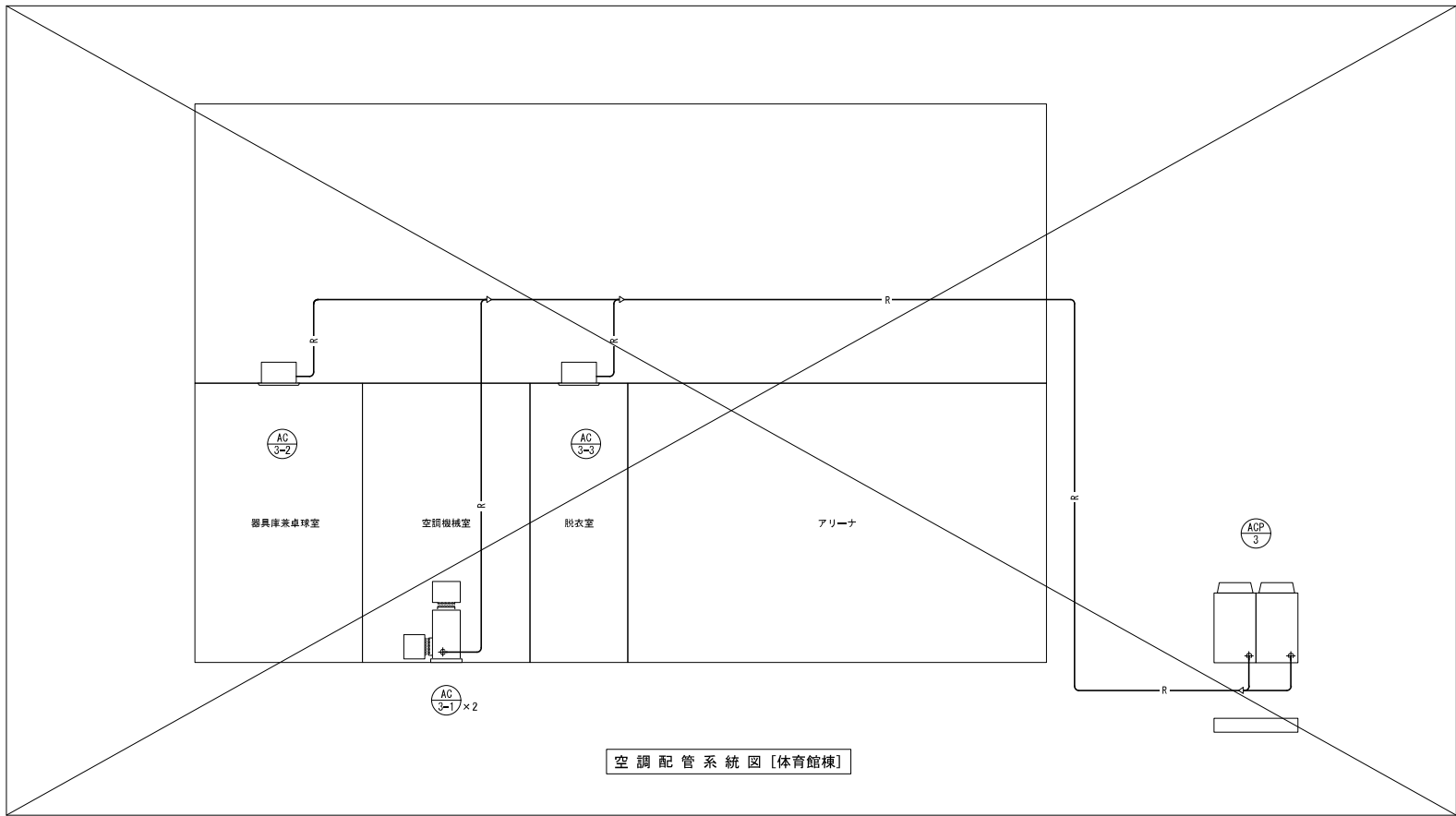
記 号	名 称	仕 様 及 び 付 属 品	電 気 容 量 kW				数量	設 置 場 所	備 考
			φ	V	定格	極低温			
ACP-1	マルチエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 寒冷地向(冷暖切換)					1	屋外	
	[室 外 機]	仕 様 冷房能力 85.0kW(JIS)	3	200	28.71				コンクリート基礎[建築工事]
		暖房能力 95.0kW(JIS)	3	200	27.21	33.78			外形寸法 920W×740D×1,650H×3
		圧縮機 (7.40×3)kW INV始動							参考重量 205kg×3
		付属品 77タイプフィルター、SUS製防雪フード、鋼製架台(溶融垂鈴φ1500H)、他一式							
AC 1-1	マルチエアコン	形 式 天井埋込ダクト接続形					2	1F- ホール	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 16.0kW(JIS)	1	200	0.49				
		暖房能力 18.0kW(JIS)	1	200	0.47				
		付属品 リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 1-2	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット4方向吹出形					3	1F- 多目的ホール	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 8.0kW(JIS)	1	200	0.09				
		暖房能力 9.0kW(JIS)	1	200	0.08				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 1-3	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット4方向吹出形					1	1F- クラブ室	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 7.1kW(JIS)	1	200	0.03				
		暖房能力 8.0kW(JIS)	1	200	0.03				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 1-4	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット4方向吹出形					2	1F- 作業訓練室、調理室	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 5.6kW(JIS)	1	200	0.02				
		暖房能力 6.3kW(JIS)	1	200	0.02				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 1-5	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット2方向吹出形					2	1F- 廊下	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 9.0kW(JIS)	1	200	0.08				
		暖房能力 10.0kW(JIS)	1	200	0.08				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
ACP-2	マルチエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 寒冷地向(冷暖切換)					1	屋外	
	[室 外 機]	仕 様 冷房能力 63.0kW(JIS)	3	200	21.84				コンクリート基礎[建築工事]
		暖房能力 69.0kW(JIS)	3	200	20.16	24.84			外形寸法 920W×740D×1,650H×2
		圧縮機 (7.40+9.20)kW INV始動							参考重量 205kg×2
		付属品 77タイプフィルター、SUS製防雪フード、鋼製架台(溶融垂鈴φ1500H)、他一式							
AC 2-1	マルチエアコン	形 式 天井埋込ダクト接続形					4	1F- 事務室1	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 5.6kW(JIS)	1	200	0.19				
		暖房能力 6.3 kW(JIS)	1	200	0.17				
		付属品 リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 2-2	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット4方向吹出形					1	1F- 会議室(中会議室)	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 11.2kW(JIS)	1	200	0.07				
		暖房能力 12.5kW(JIS)	1	200	0.07				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 2-3	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット4方向吹出形					2	1F- 会議室(大会議室)	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 9.0kW(JIS)	1	200	0.04				
		暖房能力 10.0kW(JIS)	1	200	0.04				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 2-4	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット4方向吹出形					1	1F- パソコン室	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 7.1kW(JIS)	1	200	0.03				
		暖房能力 8.0kW(JIS)	1	200	0.03				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 2-5	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット2方向吹出形					1	1F- 事務室2(障害110)	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 2.8kW(JIS)	1	200	0.03				
		暖房能力 3.2kW(JIS)	1	200	0.03				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							
AC 2-6	マルチエアコン	形 式 天井埋込カセット2方向吹出形					3	1F- 相談室1、相談室2	
	[室 内 機]	仕 様 冷房能力 2.2kW(JIS)	1	200	0.03			更衣室	
		暖房能力 2.5kW(JIS)	1	200	0.03				
		付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式							

※ 既設 ACP-3の運転制御(ピークカットモード)を通常モードに変更を行う。(本工事)

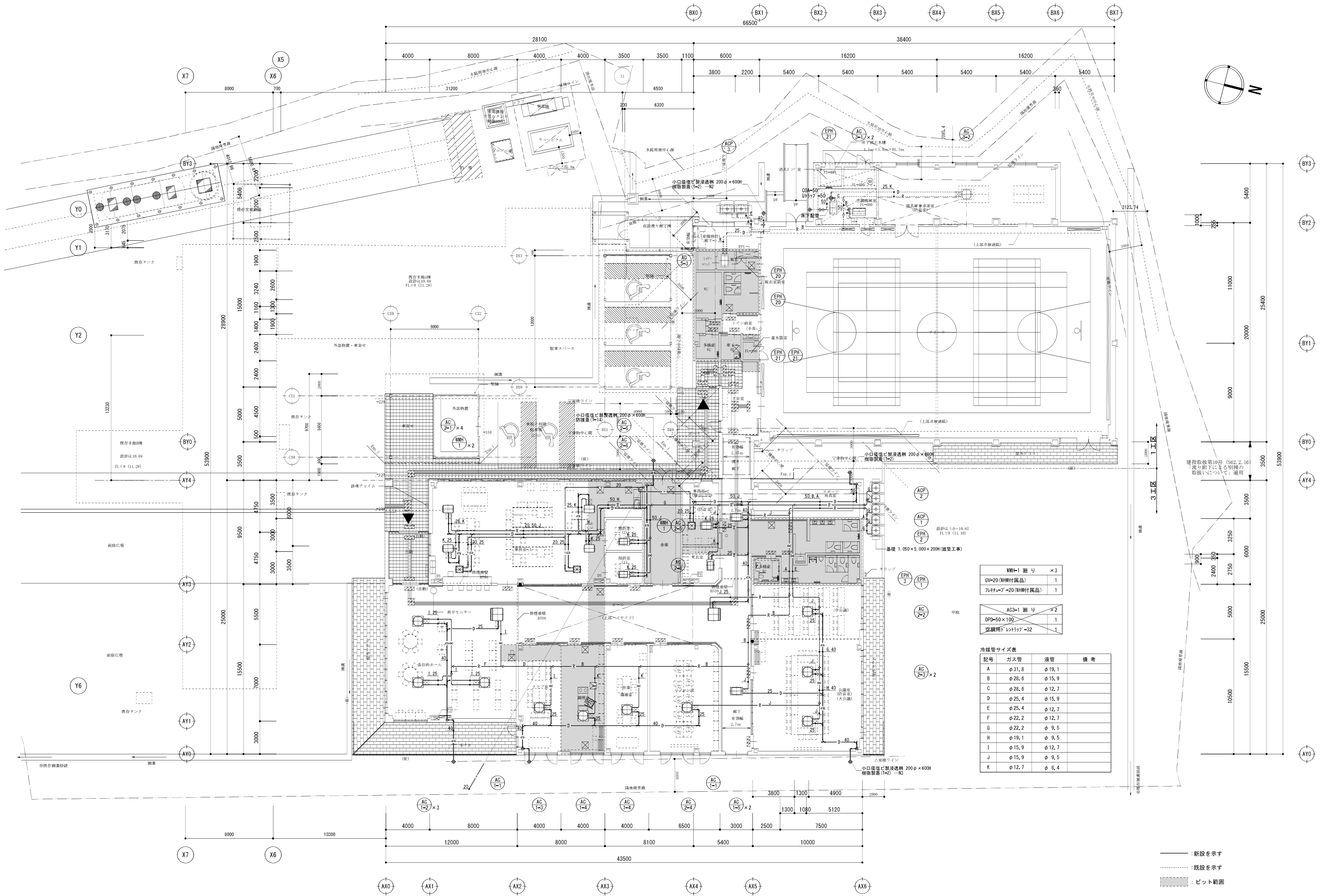
記 号	名 称	仕 様 と し て の 要 求 品	電 気 容 量 (kW)				数 量	設 置 場 所	備 考
			φ	V	定 格	極 低 温			
ORC-1	集中コントローラー	形 式 総合管理システム 仕 様 液晶カラータッチパネル式 10.4インチ 機 能 設定/表示(運転モード、温度、他)、手元操作への禁止/許可、スケジュール 異常表示/履歴保持、他一式 付属品 省エネモニター、業務用モニター、給湯機リセス、他一式					1	1F- 事務室1	※自動制御に支給
EPH-1	電気パネルヒーター	形 式 ステンレス製壁掛形電気パネルヒーター 仕 様 加熱能力 1.75kW サーモスタット内蔵 付属品 いたずら防止カバー、他一式	1	200	1.75		1	1F- 男子トイレ	
EPH-2	電気パネルヒーター	形 式 ステンレス製壁掛形電気パネルヒーター 仕 様 加熱能力 1.50kW サーモスタット内蔵 付属品 いたずら防止カバー、他一式	1	200	1.50		1	1F- 女子トイレ	
EPH-3	電気パネルヒーター	形 式 ステンレス製壁掛形電気パネルヒーター 仕 様 加熱能力 0.75kW サーモスタット内蔵 付属品 いたずら防止カバー、他一式	1	200	0.75		1	1F- 多機能トイレ	
WHH-1	加 温 器	形 式 点滴浸透気化式天井カセット形(ヒートポンプ内蔵) 仕 様 加温能力 2.2kg/h 風量 570m3/h(強弱2段切替) 水道直結間欠給水方式 給水量 0.094L/min 給水圧 0.05~0.5MPa 水道法基準適合(第三者機関認証登録) 保健衛生対策 アフターラン機能、定時乾燥機能 付属品 化粧グリル、リモコン、ドレンアップ機、他一式	1	100	0.083		3	1F- 事務室1×2 事務室2(障害110)	
ACP-3	マルチエアコン [室 外 機]	形 式 空冷ヒートポンプ式 寒冷地向(冷暖切換) 仕 様 冷房能力 77.5kW(JIS) 暖房能力 90.0kW(JIS) 圧縮機 (10.4×2)kW INV始動 付属品 プラント、SUS製防雪フード、銅製架台(溶融亜鉛メッキ500H)、他一式	3	200	25.00	33.44	1	屋外	コンクリート基礎[建築工事] 外形寸法 1,220W×740D×1,650H×2 参考重量 248kg×2
AC 3-1	マルチエアコン [室 内 機]	形 式 床置ダクト接続形(高静圧) 仕 様 冷房能力 45.0kW(JIS) 暖房能力 50.0kW(JIS) 8,400m3/h×206Pa 付属品 リモコン、後吸込ダクトラング、他一式	3	200	1.62	1.62	2	7階ナ	コンクリート基礎[建築工事] 外形寸法 1,220W×600D×1,850H 参考重量 216kg
AC 3-2	マルチエアコン [室 内 機]	形 式 天井埋込カセット4方向吹出形 仕 様 冷房能力 4.5kW(JIS) 暖房能力 5.0kW(JIS) 付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式	1	200	0.02	0.02	1	器具庫兼卓球室	
AC 3-3	マルチエアコン [室 内 機]	形 式 天井埋込カセット2方向吹出形 仕 様 冷房能力 2.2kW(JIS) 暖房能力 2.5kW(JIS) 付属品 化粧パネル、リモコン、ドレンアップ機、他一式	1	200	0.03	0.03	1	脱衣室	
EPH-20	電気パネルヒーター	形 式 ステンレス製壁掛形電気パネルヒーター 仕 様 加熱能力 1.00kW サーモスタット内蔵 付属品 いたずら防止カバー、他一式	1	200	0.8		2	男子トイレ、女子トイレ	
EPH-21	電気パネルヒーター	形 式 ステンレス製壁掛形電気パネルヒーター 仕 様 加熱能力 0.75kW サーモスタット内蔵 付属品 いたずら防止カバー、他一式	1	200	0.8		3	多機能トイレ、車椅子トイレ 消火器ラック室	



空調配管系統図 [本館棟]



空調配管系統図 [体育館棟]



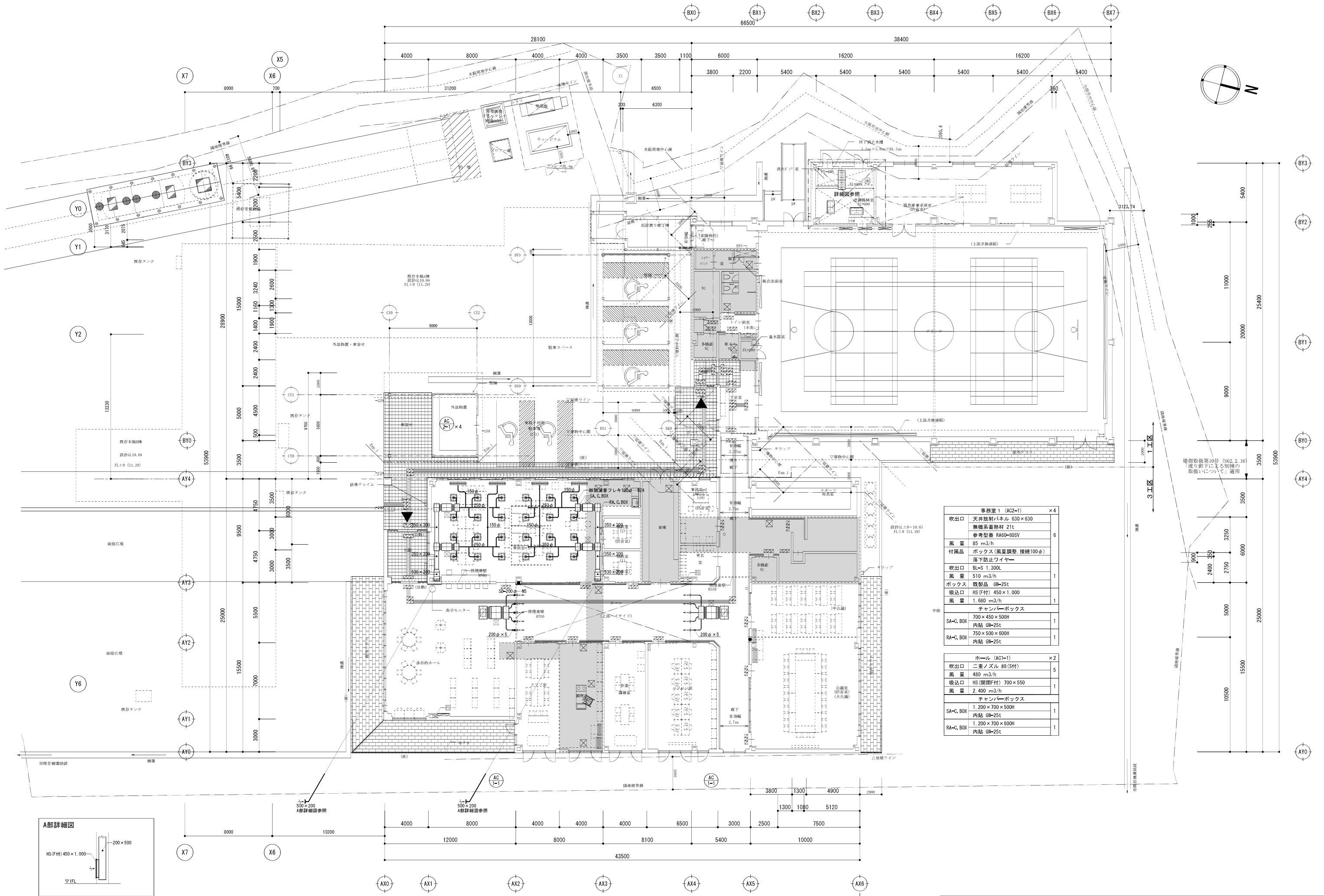
WNH-1 通り	×3
GV-20 (WNH付属品)	1
フレックサブル-20 (WNH付属品)	1

AC3-1 通り	×2
OPD-50 × 100	1
空調用ドレントラップ-32	1

記号	ガス管	液管	備考
A	φ31.8	φ19.1	
B	φ28.6	φ15.9	
C	φ28.6	φ12.7	
D	φ25.4	φ15.9	
E	φ25.4	φ12.7	
F	φ22.2	φ12.7	
G	φ22.2	φ9.5	
H	φ19.1	φ9.5	
I	φ15.9	φ12.7	
J	φ15.9	φ9.5	
K	φ12.7	φ6.4	

- : 新設を示す
- - - : 既設を示す
- : ビット範囲

1階平面図 S=1/150



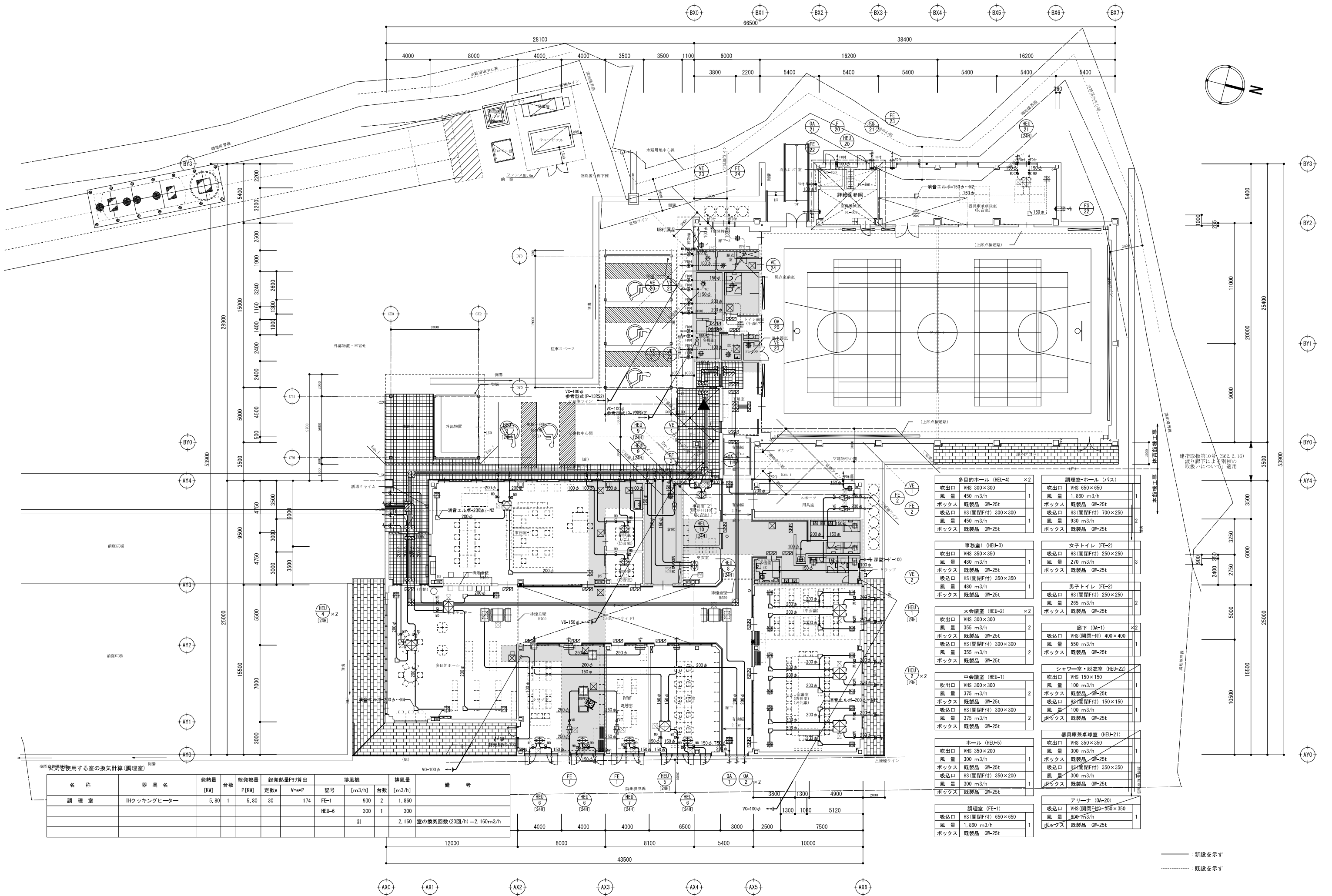
1階平面図 S=1/150

換 気 機 器 表

記 号	名 称	仕 様 及 び 付 属 品	電 気 容 量			数量	設 置 場 所	備 考
			φ	V	W			
HEU-1	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込ダクト接続形(マイコンタイプ)				1	1F→ 会議室(中会議室)	
		仕 様 200φ×750m3/h×90Pa (微弱)50m3/h×10Pa	1	100	395.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製軒天用ベントキャップ×2、防振吊り金具、C02センサー、他一式						
HEU-2	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込ダクト接続形(マイコンタイプ)				2	1F→ 会議室(大会議室)	
		仕 様 200φ×710m3/h×100Pa (微弱)100m3/h×10Pa	1	100	395.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製軒天用ベントキャップ×2、防振吊り金具、C02センサー、他一式						
HEU-3	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込ダクト接続形(マイコンタイプ)				1	1F→ 事務室1	
		仕 様 200φ×480m3/h×80Pa (微弱)150m3/h×10Pa	1	100	258.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード×2、防振吊り金具、C02センサー、他一式						
HEU-4	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込ダクト接続形(マイコンタイプ)				2	1F→ 多目的ホール	
		仕 様 200φ×450m3/h×80Pa (微弱)140m3/h×15Pa	1	100	258.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製軒天用ベントキャップ×2、防振吊り金具、C02センサー、他一式						
HEU-5	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込ダクト接続形(マイコンタイプ)				1	1F→ ホール	
		仕 様 150φ×300m3/h×80Pa (弱)230m3/h×50Pa	1	100	194.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード×2、防振吊り金具、C02センサー、他一式						
HEU-6	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込カセット形(マイコンタイプ)				3	1F→ パソコン教室、ラウンジ室、調理室	
		仕 様 150φ×300m3/h×80Pa (微弱)40m3/h×10Pa	1	100	153.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード×2、防振吊り金具、他一式						
HEU-7	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込カセット形(マイコンタイプ)				1	1F→ 作業訓練室	
		仕 様 100φ×180m3/h×30Pa (微弱)40m3/h×10Pa	1	100	69.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード×2、防振吊り金具、他一式						
HEU-8	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込カセット形(マイコンタイプ)				1	1F→ 更衣室	
		仕 様 100φ×160m3/h×60Pa (微弱)20m3/h×10Pa	1	100	69.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード(FD付)×2、防振吊り金具、他一式						
HEU-9	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込カセット形(マイコンタイプ)				2	1F→ 相談室1、相談室2	
		仕 様 100φ×120m3/h×50Pa (微弱)10m3/h×10Pa	1	100	69.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード×2、防振吊り金具、他一式						
HEU-10	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込カセット形(マイコンタイプ)				1	1F→ 事務室2(障害110)	
		仕 様 100φ×90m3/h×50Pa (微弱)20m3/h×10Pa	1	100	69.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード(FD付)×2、防振吊り金具、他一式						
FE-1	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込消音形ストレートシロッコファン				2	1F→ 調理室	
		仕 様 200φ×930m3/h×100Pa	1	100	161.0			スイッチはE工事へ支給
		付属品 強弱スイッチ、SUS製深形フード250φ、防振吊り金具、他一式						
FE-2	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込標準形ストレートシロッコファン				2	1F→ 男子トイレ、女子トイレ	
		仕 様 200φ×540m3/h×80Pa	1	100	73.5			
		付属品 SUS製深形フード、防振吊り金具、給排気グリル(FD付)、他一式						
FE-3	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込標準形ストレートシロッコファン				1	1F→ 倉庫	
		仕 様 150φ×120m3/h×80Pa	1	100	37.0			
		付属品 SUS製深形フード(FD付)、SUS製ベントキャップ(ギヤリ付)×2、防振吊り金具、他一式						
VE-1	排 気 フ ァ ン	形 式 低騒音天井埋込形換気扇				2	1F→ ｽｷｰﾌﾞｰﾂ用器具室、倉庫	
		仕 様 150φ×260m3/h×30Pa	1	100	26.0			
		付属品 SUS製深形フード(FD付)、防振吊り金具、他一式						
VE-2	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込低騒音形換気扇				1	1F→ 多機能トイレ	
		仕 様 100φ×170m3/h×40Pa	1	100	20.0			
		付属品 SUS製深形フード150φ、防振吊り金具、他一式						
OA-1	給 気 口	形 式 天井取付制気口				2	1F→ 廊下	
		仕 様 200φ×550m3 平面図制気口表参照						
		付属品 SUS製深形フード200φ(FD付)、他一式						
OA-2	給 気 口	形 式 外気取入口				2	1F→ ホール	
		仕 様 200φ×450m3						
		付属品 SUS製深形フード200φ、他一式						

※屋外フードは指定色とする。
※ベントキャップにおいて排気用はギャラリ付・給気用は防虫網付とする。
※ウェザーカバーにおいて排気用は防鳥網付・給気用は防虫網付とする。

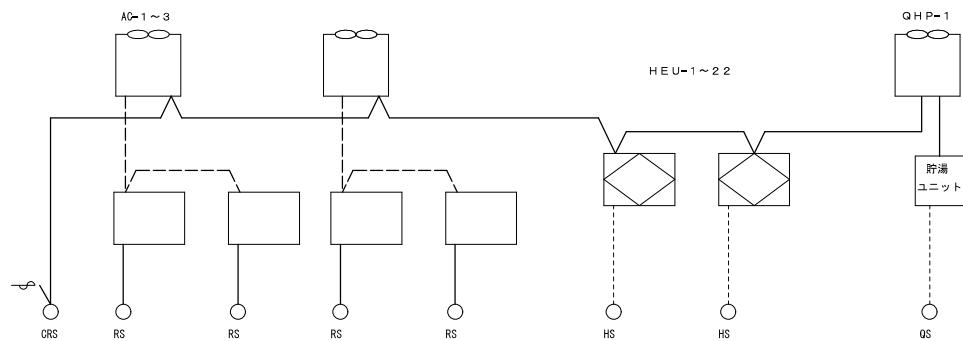
記 号	名 称	仕 様 及 び 付 属 品	電 気 容 量			数量	設 置 場 所	備 考
			φ	V	W			
HEU-20	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 床置形設備用全熱交換機(マイコンタイプ)				1	1F→ 7階→	
		仕 様 300×300×1,500m3/h×200Pa	3	200	1,210			外形寸法 1,760W×635D×1,690H 参考重量 290kg
		付属品 リモコンスイッチ、インバーター接続端子、ファンインバーター、SUS製フェイザカバー(35cm)×2、他一式						スイッチ、インバーターは自動制御へ支給
HEU-21	熱 交 換 器 ユ ニ ッ ト	形 式 天井埋込ダクト接続形(マイコンタイプ)				1	1F→ 器具庫兼卓球室	
		仕 様 150φ×300m3/h×80Pa (微弱)80m3/h×50Pa	1	100	194.0			スイッチは自動制御へ支給
		付属品 リモコンスイッチ、電動ダンパー×2、SUS製深形フード×2、防振吊り金具、他一式						
FE-20	排 気 フ ァ ン	形 式 低騒音形有圧換気扇				3	7階→	
		仕 様 30cm×1,080m3/h×30Pa	1	100	56.0			参考型番 EWF-30BSA2
		付属品 SUS製電動シャッター、SUS製フェイザカバー(FD付)、バグガード、取付不燃枠、他一式						
FE-21	排 気 フ ァ ン	形 式 低騒音形有圧換気扇				1	7階→	
		仕 様 25cm×600m3/h×30Pa	1	100	42.0			参考型番 EWF-25ASA2
		付属品 SUS製電動シャッター、SUS製フェイザカバー、バグガード、取付不燃枠、他一式						
FE-22	排 気 フ ァ ン	形 式 低騒音形有圧換気扇				1	空調機械室	
		仕 様 25cm×590m3/h×30Pa	1	100	42.0			参考型番 EWF-25ASA2 温度スイッチはE工事へ支給
		付属品 温度スイッチ、SUS製電動シャッター、SUS製フェイザカバー、バグガード、取付不燃枠、他一式						
FE-23	排 気 フ ァ ン	形 式 格子形有圧換気扇(電動シャッター付)				1	器具庫兼卓球室	
		仕 様 25cm×410m3/h×30Pa	1	100	35.0			参考型番 EFG-25KS62 温度スイッチはE工事へ支給
		付属品 温度スイッチ、SUS製フェイザカバー(FD付)、取付不燃枠、他一式						
FE-24	排 気 フ ァ ン	形 式 中間取付形ダクトファン				1	将来倉庫	
		仕 様 100φ×40m3/h×60Pa	1	100	9.0			参考型番 V-12ZMC6
		付属品 SUS製深形フード(FD付)、SUS製ベントキャップ(ギヤリ付)、防振吊り金具、他一式						
VE-20	排 気 フ ァ ン	形 式 低騒音天井埋込形換気扇				2	男子トイレ、女子トイレ	
		仕 様 150φ×310m3/h×60Pa	1	100	44.0			参考型番 VD-20ZC13
		付属品 SUS製ベントキャップ(FD付)、防振吊り金具、他一式						
VE-21	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込低騒音形換気扇				1	多機能トイレ	
		仕 様 100φ×150m3/h×30Pa	1	100	20.0			参考型番 VD-15ZPC13
		付属品 SUS製ベントキャップ(FD付)、防振吊り金具、他一式						
VE-22	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込低騒音形換気扇				1	車椅子トイレ	
		仕 様 100φ×130m3/h×40Pa	1	100	14.0			参考型番 VD-15ZC13
		付属品 SUS製ベントキャップ(FD付)、防振吊り金具、他一式						
VE-23	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込低騒音形換気扇				2	温水器室、将来倉庫	
		仕 様 100φ×90m3/h×40Pa	1	100	13.0			参考型番 VD-15ZC13
		付属品 SUS製深形フード(FD付)、防振吊り金具、他一式						
VE-24	排 気 フ ァ ン	形 式 天井埋込低騒音形換気扇				1	脱衣室	
		仕 様 100φ×50m3/h×50Pa	1	100	7.2			参考型番 VD-10ZC14
		付属品 SUS製深形フード(FD付)、防振吊り金具、他一式						
F-20	排 気 フ ァ ン	形 式 電気式シャッター付バイブファン(温度センサータイプ)				1	消火ポンプ室	
		仕 様 200φ×70m3/h×10Pa	1	100	6.1			
		付属品 SUS製深形フード(FD付)、温度センサー、給排気グリル(P-03CTU)、他一式						
FS-20	給 気 フ ァ ン	形 式 低騒音形有圧換気扇				3	7階→	
		仕 様 30cm×1,080m3/h×30Pa	1	100	73.0			FE-20へ連動[E工事]
		付属品 SUS製電動シャッター、SUS製フェイザカバー、バグガード、取付不燃枠、他一式						
FS-21	給 気 フ ァ ン	形 式 低騒音形有圧換気扇				1	空調機械室	
		仕 様 25cm×590m3/h×30Pa	1	100	73.0			
		付属品 SUS製電動シャッター、SUS製フェイザカバー(FD付)、バグガード、取付不燃枠、他一式						
FS-22	給 気 フ ァ ン	形 式 メッシュ形有圧換気扇(電動シャッター付)				1	器具庫兼卓球室	
		仕 様 25cm×410m3/h×30Pa	1	100	36.0			FE-23へ連動[E工事]
		付属品 SUS製フェイザカバー、取付不燃枠、他一式						
OA-20	給 気 口	形 式 天井取付制気口				1	7階→	
		仕 様 600m3 平面図制気口表参照						
		付属品 SUS製深形フード(FD付)200φ×2、他一式						
OA-21	給 気 口	形 式 壁取付給気グリル(フィルター付)				1	消火ポンプ室	
		仕 様 150φ						
		付属品 SUS製深形フード、他一式						



名 称	器 具 名	発熱量 [KW]	台数	総発熱量 P [KW]	総発熱量P3)算出		排風機		排风量 [m3/h]	備 考	
					定数e	V=e×P	記号	[m3/h]			台数
調 理 室	IHクッキングヒーター	5.80	1	5.80	30	174	FE-1	930	2	1,860	
							HEU-6	300	1	300	
							計			2,160	室の換気回数(20回/h) = 2,160m3/h

多目的ホール (HEU-4) ×2		吹出口 VHS 300×300	1	風 量 450 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 300×300	1	風 量 450 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
事務室1 (HEU-3)		吹出口 VHS 350×350	1	風 量 480 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 350×350	1	風 量 480 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
大会議室 (HEU-2) ×2		吹出口 VHS 300×300	2	風 量 355 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 300×300	2	風 量 355 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
中会議室 (HEU-1)		吹出口 VHS 300×300	2	風 量 375 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 300×300	2	風 量 375 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
ホール (HEU-5)		吹出口 VHS 350×200	1	風 量 300 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 350×200	1	風 量 300 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
調理室 (FE-1)		吸込口 HS (開閉F付) 650×650	1	風 量 1,860 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t				
調理室-ホール (バス)		吹出口 VHS 650×650	1	風 量 1,860 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 700×250	2	風 量 930 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
女子トイレ (FE-2)		吸込口 HS (開閉F付) 250×250	3	風 量 270 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t				
男子トイレ (FE-2)		吸込口 HS (開閉F付) 250×250	2	風 量 285 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t				
廊下 (OA-1)		吸込口 VHS (開閉F付) 400×400	1	風 量 550 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t				
シャワー室・脱衣室 (HEU-22)		吹出口 VHS 150×150	1	風 量 100 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 150×150	1	風 量 100 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
器具庫兼卓球室 (HEU-21)		吹出口 VHS 350×350	1	風 量 300 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t	吸込口 HS (開閉F付) 350×350	1	風 量 300 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t
アリーナ (OA-20)		吸込口 VHS (開閉F付) 350×350	1	風 量 800 m3/h	ボックス 既製品 GW-25t				

1. パッケージエアコン、全熱交換機リモコン配線工事



制御内容

- リモコン（RS、HS、QS）の配線を行う。
- エアコン（AC-1～3）の室内外渡り配線は、冷媒配管共巻きとし本工事とする。
- 集中コントローラ（CRS）の配線を行う。

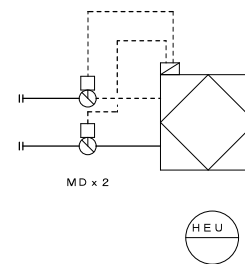
※電源供給工事は、別途電気工事区分とする。
※各リモコン、集中コントローラは機器付属品とする。

機器リスト

機器番号	室 名	台数	リモコン	MD 電動シャッター
A C-1-1	1 F ホール	2	2	—
A C-1-2	1 F 多目的ホール	3	3	—
A C-1-3	1 F クラブ室	1	1	—
A C-1-4	1 F 作業訓練室	1	1	—
	1 F 調理室	1	1	—
A C-1-5	1 F 廊下	2	2	—
A C-2-1	1 F 事務室	4	4	—
A C-2-2	1 F 会議室（中会議室）	1	1	—
A C-2-3	1 F 会議室（大会議室）	2	2	—
A C-2-4	1 F パソコン室	1	1	—
A C-2-5	1 F 事務室 2（障害 110）	1	1	—
A C-2-6	1 F 相談室 1	1	1	—
	1 F 相談室 2	1	1	—
	1 F 更衣室	1	1	—
A C-3-1	アリーナ	2	2	—
A C-3-2	器具庫兼卓球室	1	1	—
A C-3-3	脱衣室	1	1	—
HEU-1	1 F 会議室（中会議室）	1	1	2
HEU-2	1 F 会議室（大会議室）	2	2	4
HEU-3	1 F 事務室 1	1	1	2
HEU-4	1 F 多目的ホール	2	2	4
HEU-5	1 F ホール	1	1	2
HEU-6	1 F パソコン教室	1	1	2
	1 F クラブ室	1	1	2
	1 F 調理室	1	1	2
HEU-7	1 F 作業訓練室	1	1	2
HEU-8	1 F 更衣室	1	1	2
HEU-9	1 F 相談室 1	1	1	2
	1 F 相談室 2	1	1	2
HEU-10	1 F 事務室 2（障害 110）	1	1	2
HEU-20	1 F アリーナ	1	1	※
HEU-21	1 F 器具庫兼卓球室	1	1	2
HEU-22	1 F シャワー室 更衣室	1	1	2
QHP-1	1 F 温水器室	1		

※H E U-20は別制御とする。

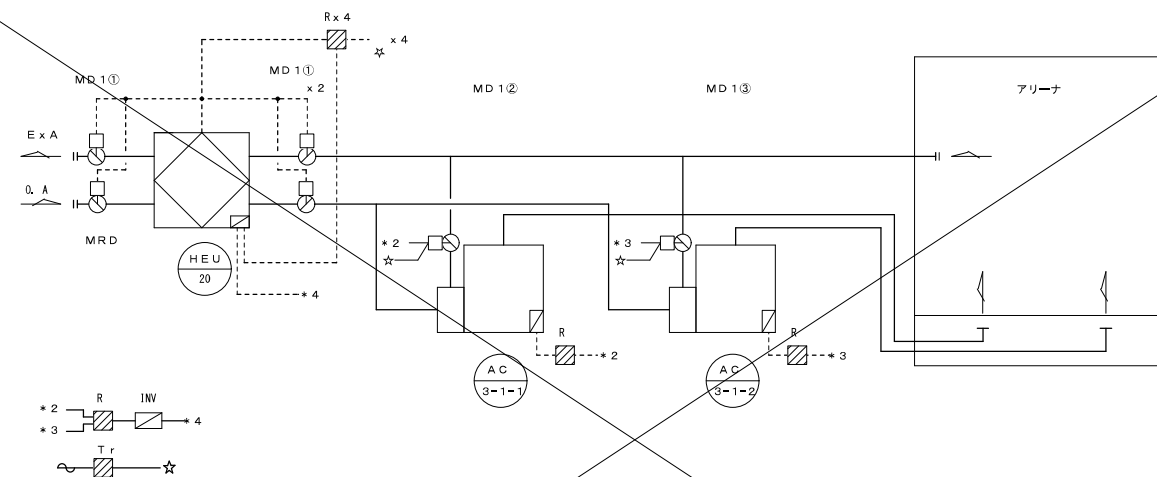
2. 全熱交換器廻り工事



制御内容

- 電動シャッターの配線を行う。
- 電動シャッターは、装置付属品とする。

3. アリーナ空調廻り制御



制御内容

- ・ダンパーモーターMD1①、MRD1は全熱交換器と連動。
- ・ダンパーモーターMD1②、MD1③はエアコンと連動。
- ・全熱交換器インバーター切替制御
エアコンAC-3-1-1、3-1-2の運転状態でインバーター周波数切替を行う。
AC-3-1が1台運転時 50%とする。
AC-3-1が2台運転時 100%とする。

※インバーターは、全熱交換器付属品として、インバーター制御盤（本工事）内組み込みとする。
インバーター制御盤一次側電源供給工事、盤二次電源工事は本工事とする。

4. 加湿器リモコン配線工事

本館棟

1 F 事務室 1	2 台
1 F 事務室 2	1 台

WHM
1

HMS

制御内容

リモコン(HMS)より加湿器(WHM)の運転を行う。

※電源供給工事は、別途電気工事区分とする。
※リモコンは機器付属品とする。

5. 電動水抜栓廻り配線工事

本館棟

	水抜栓
男子トイレ	1 台
女子トイレ	1 台
多機能トイレ	1 台
調理室	1 台
事務室 1	1 台
計	5 台

体育館棟

	水抜栓
男子トイレ	1 台
女子トイレ	1 台
多機能トイレ	1 台
QHP-1	1 台
シャワー室	1 台
計	5 台

電動水抜栓

電動水抜栓操作盤

制御内容

操作盤より電動水抜栓の開閉を行う。

※電源供給工事は、別途電気工事区分とする。

6. 消火水槽電極工事

制御内容

電極（3 P）の配線を行う。

7. 浄化槽警報監視

制御内容

浄化槽の警報表示を行う。

自動制御機器表

記 号	名 称	備 考
MD 1	ダンバ操作器	
MRD	ダンバ操作器	
T r	トランス	
3 P	電極棒	
MD	電動シャッター	HEU付属品
RS	エアコンリモコン	ACP付属品
HS	全熱交換器リモコン	LS付属品
QS	ヒートポンプ給湯器リモコン	QHP付属品
HMS	加湿器リモコン	WMH付属品
CRS	集中コントローラ	ACP付属品

制御盤参考寸法

	形状	寸 法			備 考
		W	H	D	
インバーター制御盤	自立	7 0 0	1 9 5 0	3 5 0	アリーナ空調廻り制御
小型警報器	壁掛	1 0 0	1 4 0	3 7	GAP-4 N相当品

インバーター制御盤回路

10200V

RL

MCB

制御電源

HEU-20より

R S T

R S T

INV INV

U V W U V W

(排気) (給気)

HEU-20へ

株式会社 八洲建築設計事務所

一級建築士284561号 鈴木雄二

YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS

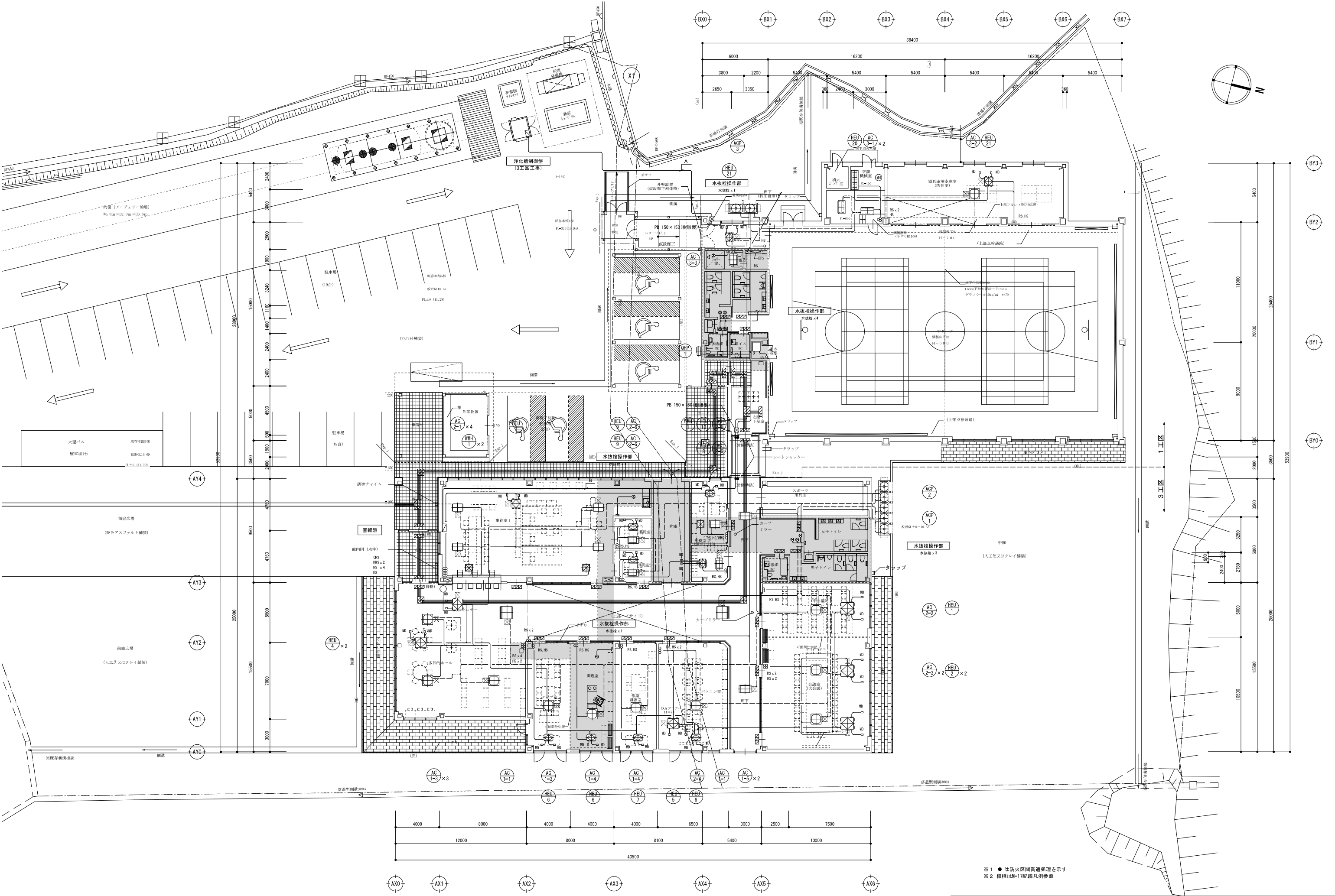
障がい者交流センターねむのき会館（仮称）
（本館）改築機械設備工事

自動制御設備 計装図（2）

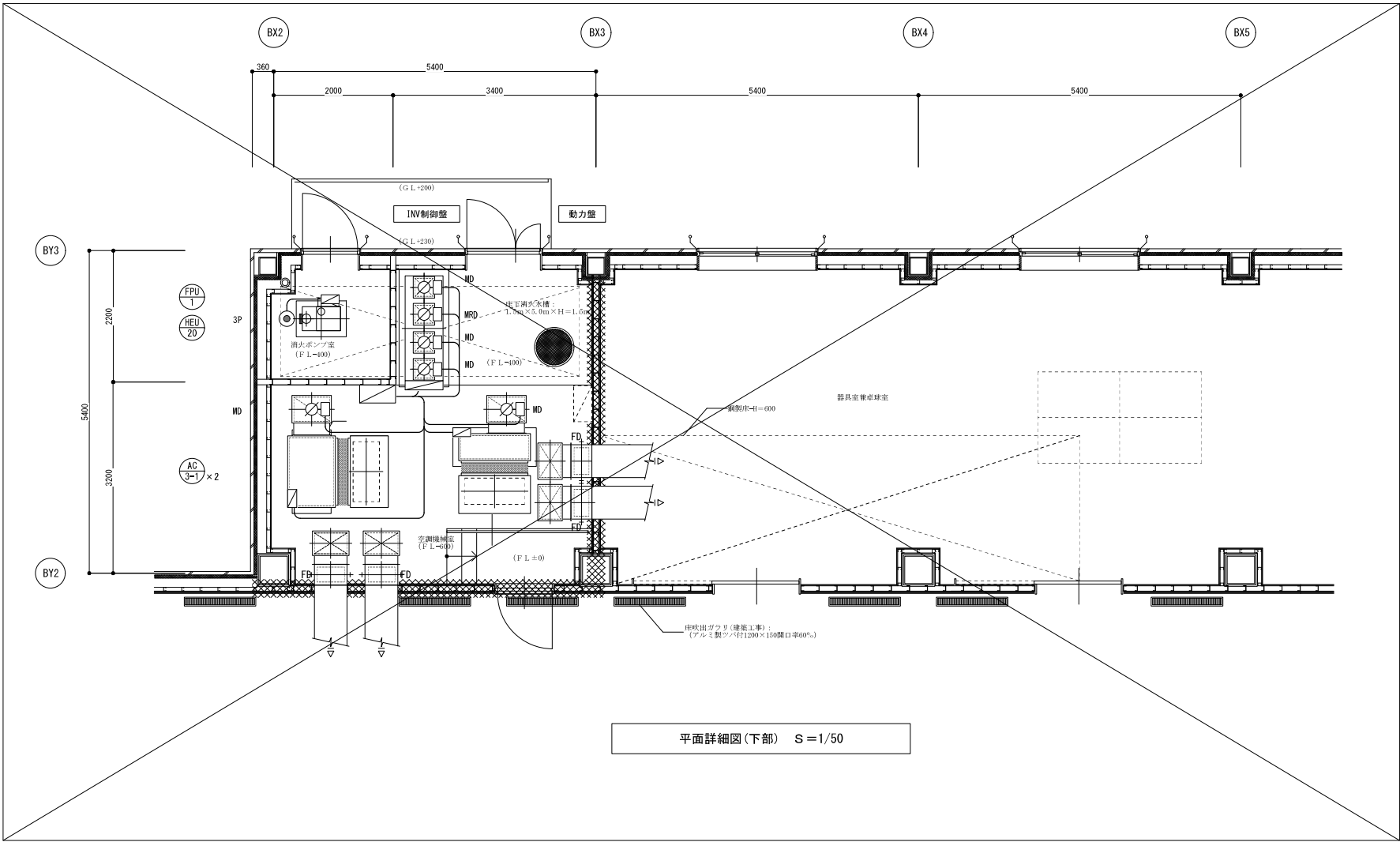
SCALE A1ー、A3ー

DATE 2023. 03.

M ー 15



※ 1 ●は防火区間貫通処理を示す
※ 2 線種は※-17配線凡例参照



平面詳細図(下部) S=1/50

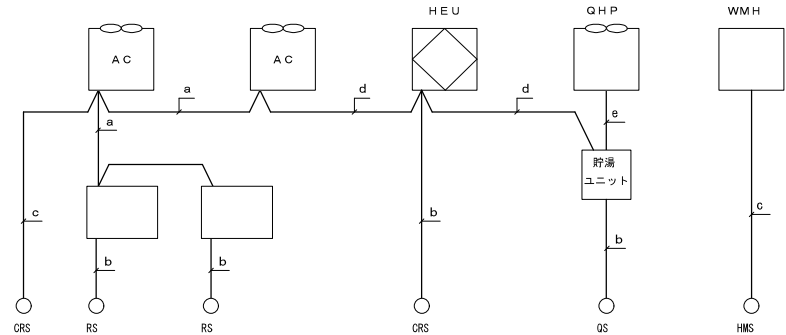
3 P	EM-C E E	1.2 5	- 3 C ^D	E 2 5
MD	EM-C E E	1.2 5	- 3 C ^D	E 2 5
MRD	EM-C E E	1.2 5	- 5 C ^D	E 2 5
AC-3-1	EM-C E E	1.2 5	- 4 C ^D	E 2 5
HEU-2 0	EM-M E E S	1.2 5	- 2 C ^D	E 3 1
	EM-C E E	1.2 5	- 4 C ^D	
	EM-C E	3.5	- 4 C ^D x 4	E 6 3
動力室	EM-C E E	3.5	- 3 C ^D	E 3 1

1 階平面

-A-	EM-C E E	1.2 5	- 2 C ^D	(P F 2 2)
-B-	EM-C E E	1.2 5	- 2 C ^D	(コログシ)

凡 例	
	※防火区画：(1500m2以内) LGS下地+強化石膏ボードt=12,5+強化石膏ボードt=12,5(両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174
	※防火上主要な間仕切壁： LGS下地+強化石膏ボードt=12,5+強化石膏ボードt=12,5(両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174

配線凡例



-a-	EM-C E E S	1.2 5 ^D	- 2 C	(共巻)
-b-	EM-C E E S	1.2 5 ^D	- 2 C	(P F 2 2 / コログシ)
-c-	EM-C E E S	1.2 5 ^D	- 2 C	(P F 2 2 / コログシ)
-d-	EM-C E E S	1.2 5 ^D	- 2 C	(コログシ)
-e-	EM-E E F	1.6 ^D	- 2 C x 2	(P F 2 2)

凡例

シンボル	記号	ケーブル種別	配 管
	MD 1	EM-C E E 1.2 5 - 3 C ^D	E 2 5
	MRD	EM-C E E 1.2 5 - 2 C ^D	E 2 5
	MD	EM-C E E 1.2 5 - 2 C ^D	-
	3 P	EM-C E E 1.2 5 - 3 C ^D	E 2 5
	水抜栓	EM-C E E 1.2 5 - 2 C ^D	P F 2 2

衛生機具表

名 称	参 考 型 式	仕 様 及 び 付 属 品	本館棟							数量	体育館棟								数量	備 考	
	JIS品番		1 階						屋外		1 階										
			事 務 室 1	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	多 機 能 W C	掃 除 用 具 庫	調 理 室			倉 庫	浄 化 槽	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	多 機 能 W C	車 椅 子 W C	掃 除 用 具 庫	シ ャ ワ ー 室			脱 衣 室
洋 風 便 器	Q-1200S	防露式密結D-ソック(壁給水形、手洗無) 二連紙巻器、暖房洗浄便座(リモコン洗浄)		3	3							6	2	2						4	
洋 風 便 器 (車椅子対応)	Q-1111R	防露式密結D-ソック(壁給水形、手洗無) 二連紙巻器、暖房洗浄便座(リモコン洗浄、蓋なし)				1						1			1	1				2	
オストメイトバック (低リップ)		ソック式おトイレ流し、電気温水器(100V)、石けん入れ、 紙巻器、ソックスイッチ、側板×1				1						1			1					1	
小 便 器 (低リップ)	U620	壁掛式、センター体形(100V)		2								2	2							2	
掃 除 流 し (バック付)	S210	送り座付横水栓、S形排水トラップ(白粉体・ゴム栓付) リムカバー					1					1				1				1	
洗 面 器 (カウンター車椅子対応)	13-FA、13-S3	8'カラー一体タイプ(3連)L3090×D560、自動単水栓ゲージソック(100V)×3、 アングル止水栓×3、P形排水トラップ×3			1							1									※鏡は建築工事
洗 面 器 (カウンター車椅子対応)	13-FA、13-S3	8'カラー一体タイプ(2連)L2000×D560、自動単水栓ゲージソック(100V)×2、 アングル止水栓×2、P形排水トラップ×2		1								1									※鏡は建築工事
洗 面 器 (カウンター車椅子対応)	13-FA、13-S3	8'カラー一体タイプ(2連)L2100×D560、自動単水栓ゲージソック(100V)×2、 アングル止水栓×2、P形排水トラップ×2												1						1	※鏡は建築工事
洗 面 器 (カウンター車椅子対応)	13-FA、13-S3	8'カラー一体タイプ(2連)L1800×D560、自動単水栓ゲージソック(100V)×2、 アングル止水栓×2、P形排水トラップ×2											1							1	※鏡は建築工事
洗 面 器	L410、13-FA、13-S3	壁掛大形洗面器、アングル形止水栓、P形排水トラップ、 自動単水栓(100V)															1			1	
洗 面 器 (車椅子対応)	L511、13-FA、13-S3	壁掛洗面器、アングル形止水栓、P形排水トラップ、 自動単水栓ゲージソックタイプ(100V)				1						1			1	1				2	
洗 面 器 (フレーム式)		アングルカウンタータイプ、自動単水栓ゲージソック(100V)、 アングル止水栓×1、P形排水トラップ×1																1		1	※カウンター、鏡は建築工事
多 目 的 流 し (大 型)		P形排水トラップ×1								1		1							1	1	
手 す り (洋風便器用)		可動式はね上げタイプ、樹脂被覆				1						1			1	1				2	
手 す り (洋風便器用)		L型、樹脂被覆		3	3	1						7	2	2	1	1				6	
手 す り (小便器用)		壁固定式、樹脂被覆		1								1	1							1	
防 錆 化 粧 鏡		450×600																1		1	
防 錆 化 粧 鏡		450×1000				1						1			1	1				2	
混 合 水 栓		壁付ソック・リバー混合水栓(泡沫)	1								1	2									
混 合 水 栓		壁付サニタリッシュ水栓															1			1	
混 合 水 栓		洗濯機用混合水栓(緊急止水付)								1		1									
横 水 栓	13-F7	吐水口回転形										1									
洗 濯 機 バ ン		740×640、縦引きトラップ									1	1									
大 型 ベ ッ ト		長方形方向収納タイプ 1,500×696×480(開時参考寸法)				1						1			1					1	
ベ ビ ー チ ェ ア ー		平壁設置タイプ 286×280×1,150(開時参考寸法)				1						1			1					1	
流 し 台		※建築工事(排水金物共)	(1)									(1)									
調 理 台		※建築工事(水栓、排水金物共) 給排水接続は本工事							(1)			(1)									

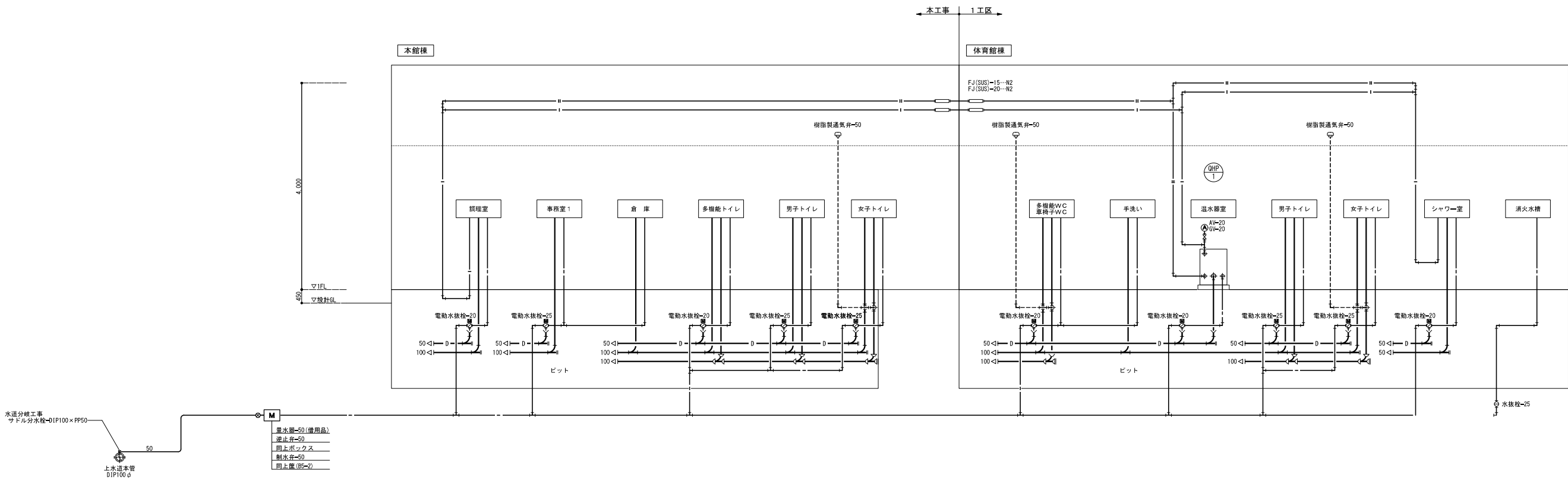
衛生機器表	
1	衛生機器表

[illegible]

樹 リ ス ト

[illegible][illegible]

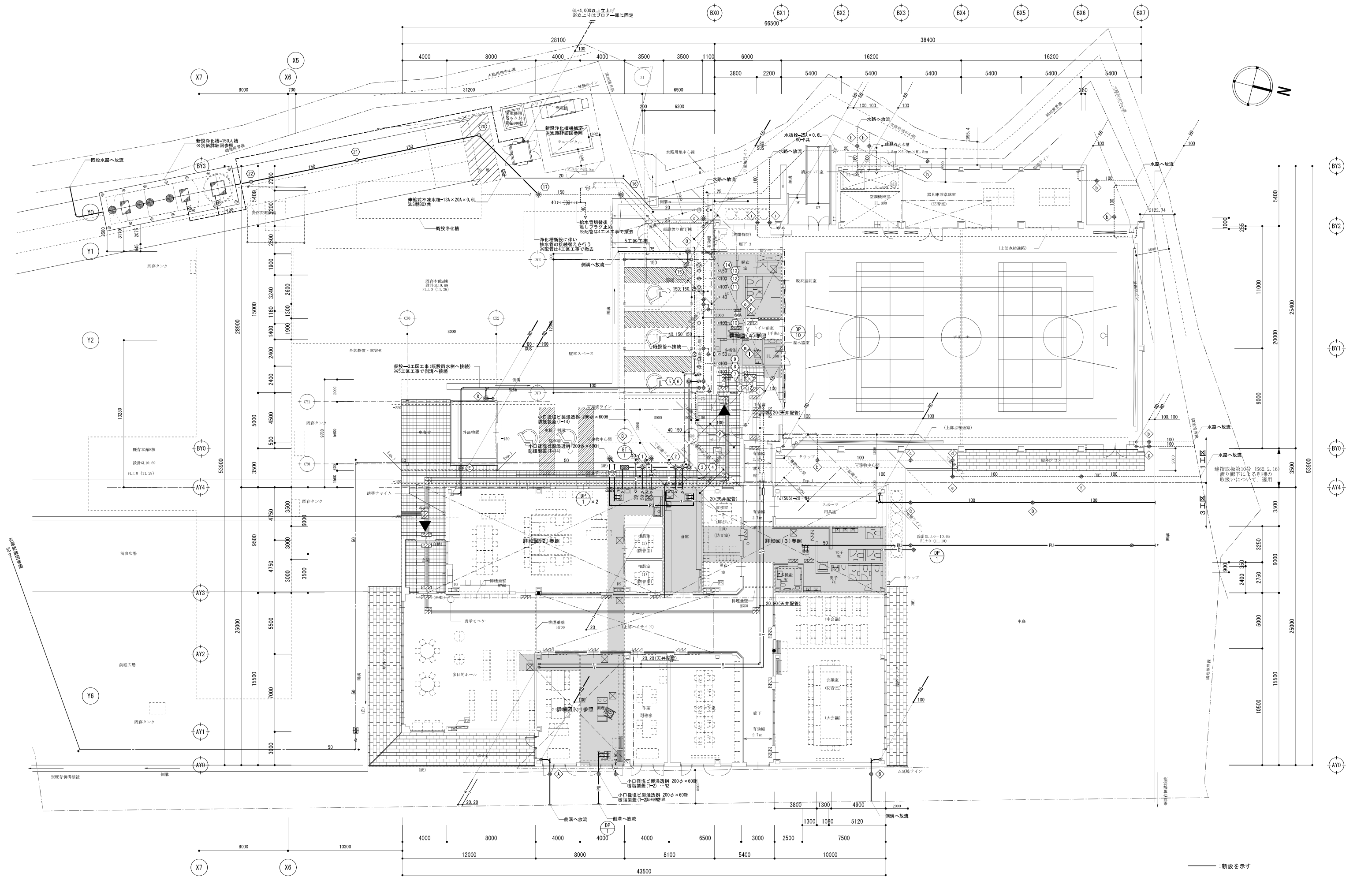
※ 排水樹は原則として150Aは勾配1.5/100、125Aは勾配1.7/100、100Aは勾配2/100とする。但し、No.A～R,a 雨水樹は勾配1.0/100とする。



〔給排水衛生設備〕系 統 図

特 記

- 給水管は水抜きが出来る配管経路とする。
- 電動水抜栓の操作盤は自動制御設備工事に支給とする。
- 樹脂製通気弁はメンテナンスが出来る位置に設置とし、天井内開放とする。



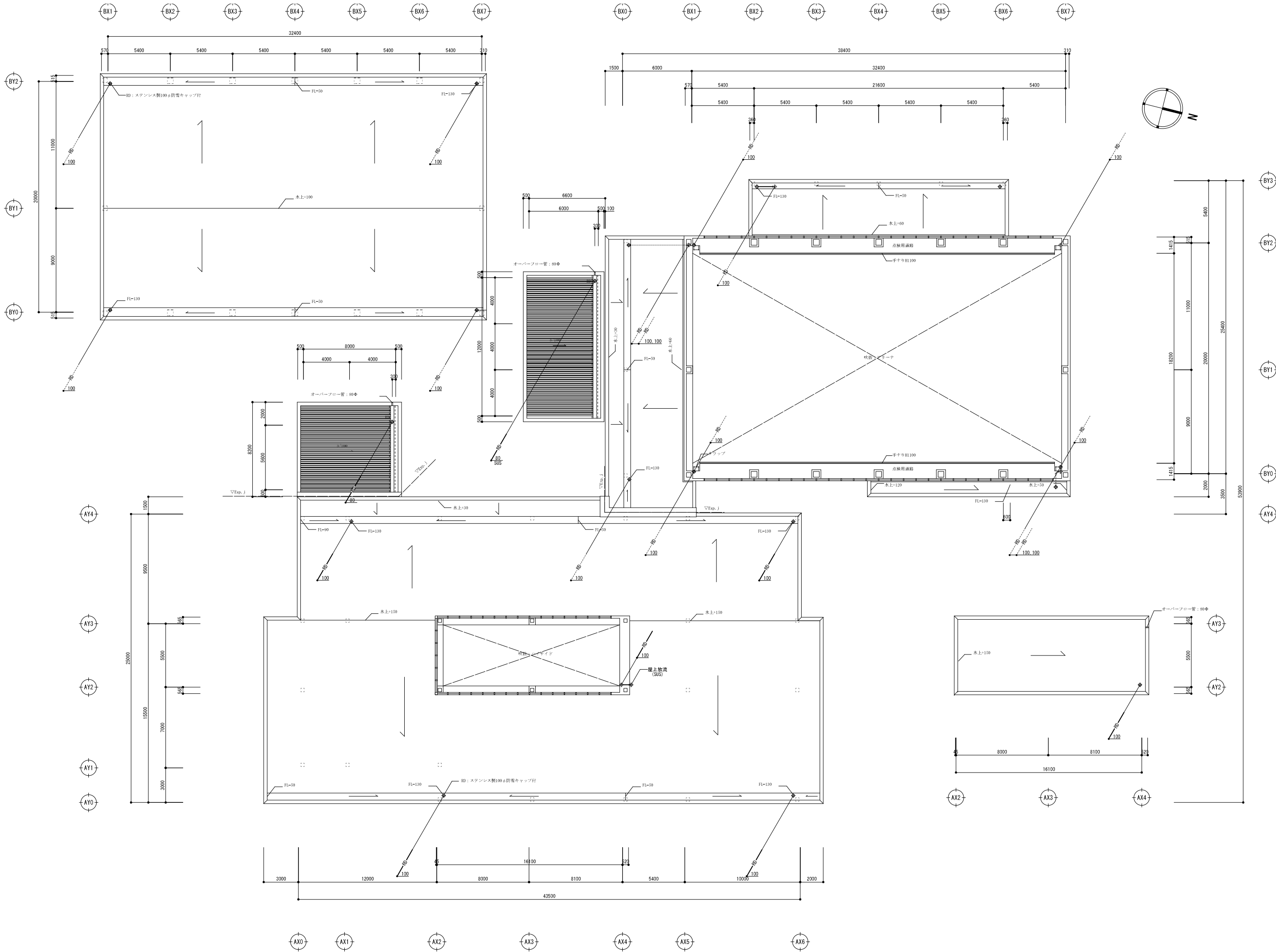
[既設] DP-10 廻り	
仕切弁-40	2
逆止弁-40	2
防振継手-40	2

DP-1 廻り ×3	
仕切弁-40	6
逆止弁-50 (量水器用)	6
防振継手-40	6

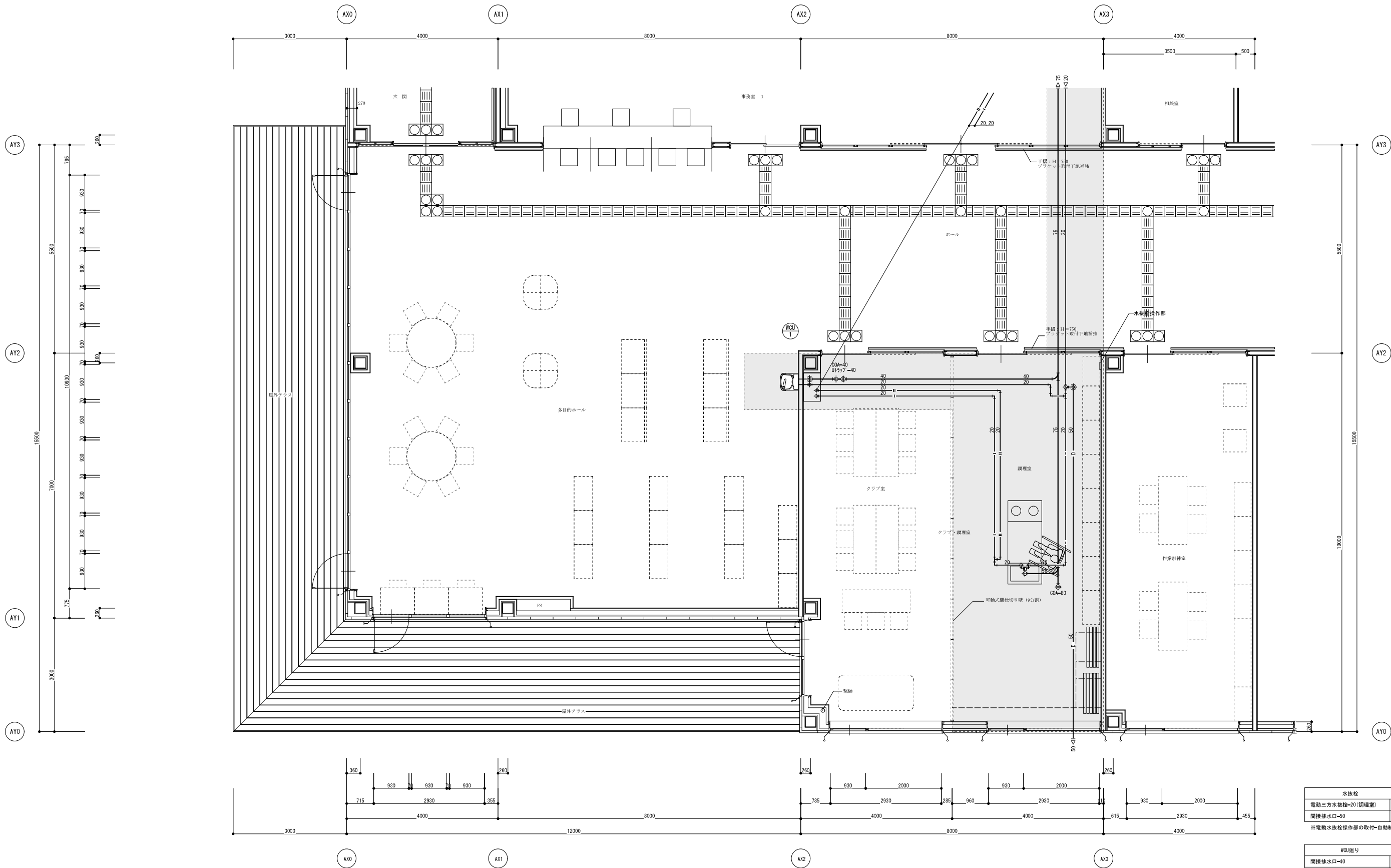
量水器 廻り	
量水器-50 (借用品)	1
逆止弁-50 (量水器用)	1
量水器樹 (市販品)	1
仕切弁-50 (V7D-4)	1
弁座 (VC-P)	1

1階平面図 S=1/150

- : 新設を示す
- - - : 既設を示す
- : ビット範囲



屋根伏図 S=1/150



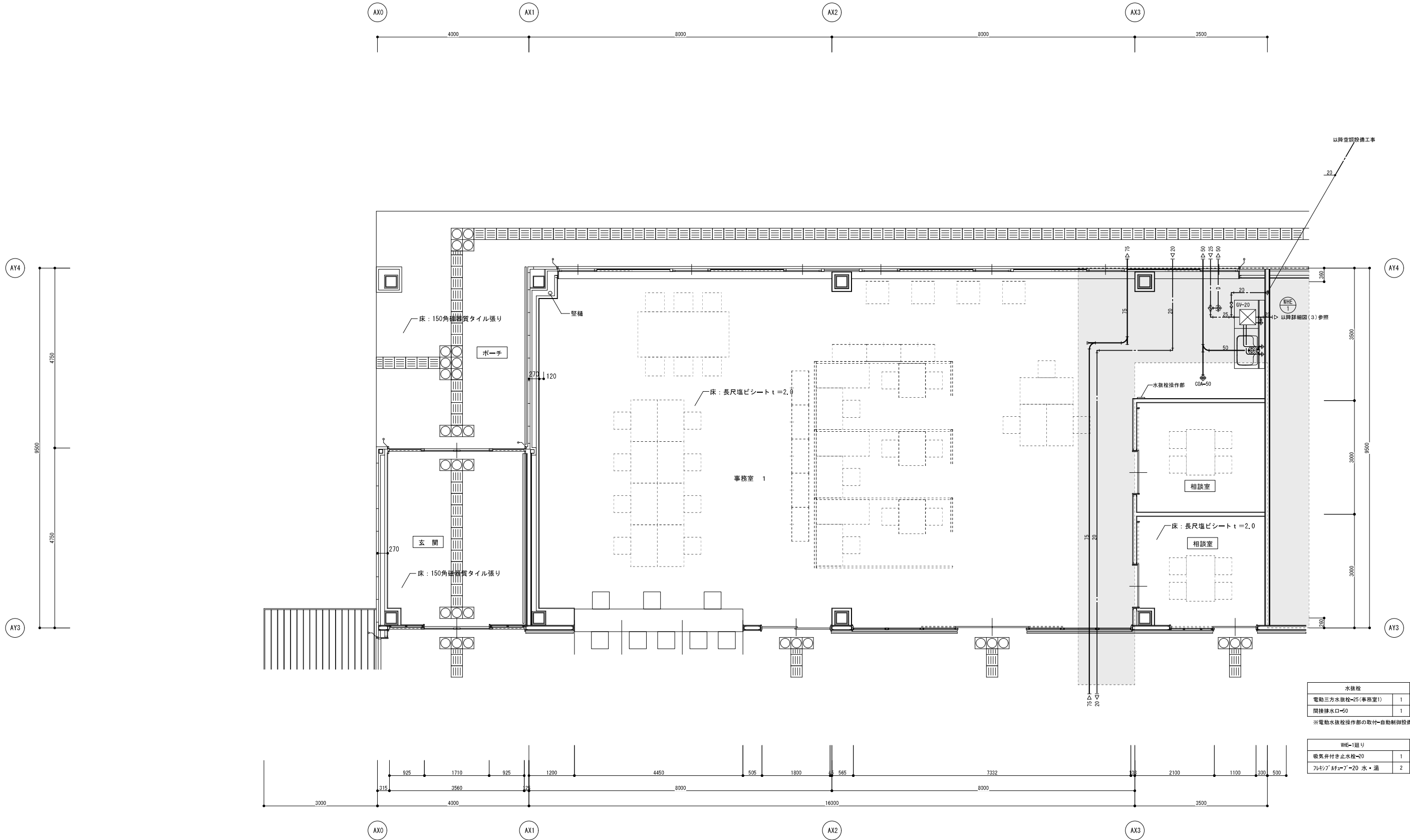
凡 例	
	※防火区画：(1500㎡以内) LGS下地+強化石膏ボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174
	※防火上主要な間仕切壁： LGS下地+強化石膏ボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174

平面詳細図一(2) S=1/50

水栓検	
電動三方水放栓-20(調理室)	1
間接排水口-50	1

WCU廻り	
間接排水口-40	1

※電動水栓検操作部の取付・自動制御設備工事



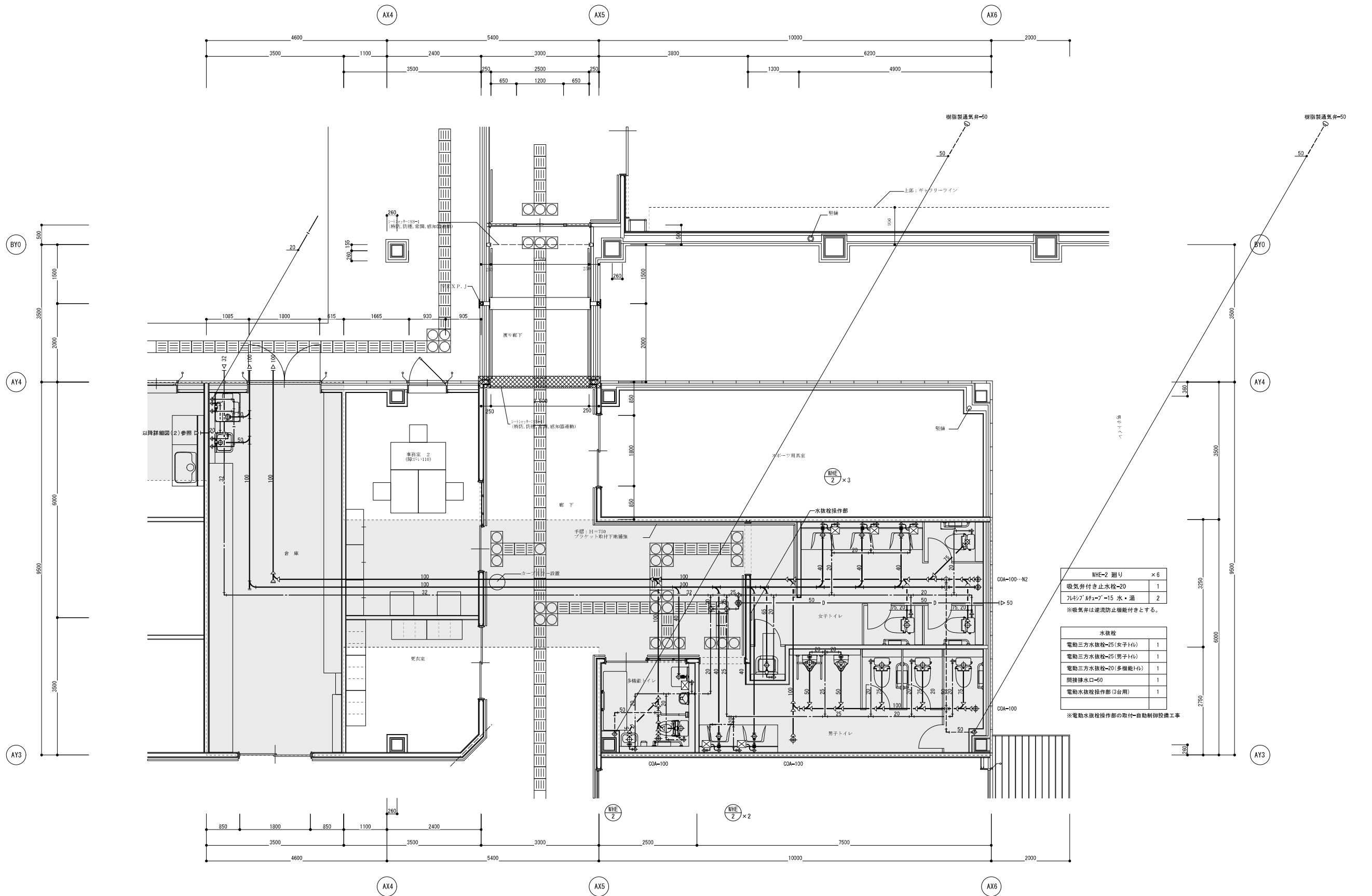
水抜栓	
電動三方水抜栓-25 (事務室1)	1
間接排水口-60	1

※電動水抜栓操作部の取付-自動制御設備工事

WHC-1通り	
吸気弁付き止水栓-20	1
フレンチ/肘ジョイント-20 水・湯	2

凡 例	
	※防火区画：(1500mm以内) LGS下地+強化石膏ボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5 (両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174
	※防火上主要な間仕切壁： LGS下地+強化石膏ボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5 (両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174

平面詳細図一 (1) S=1/50
ビッド範囲



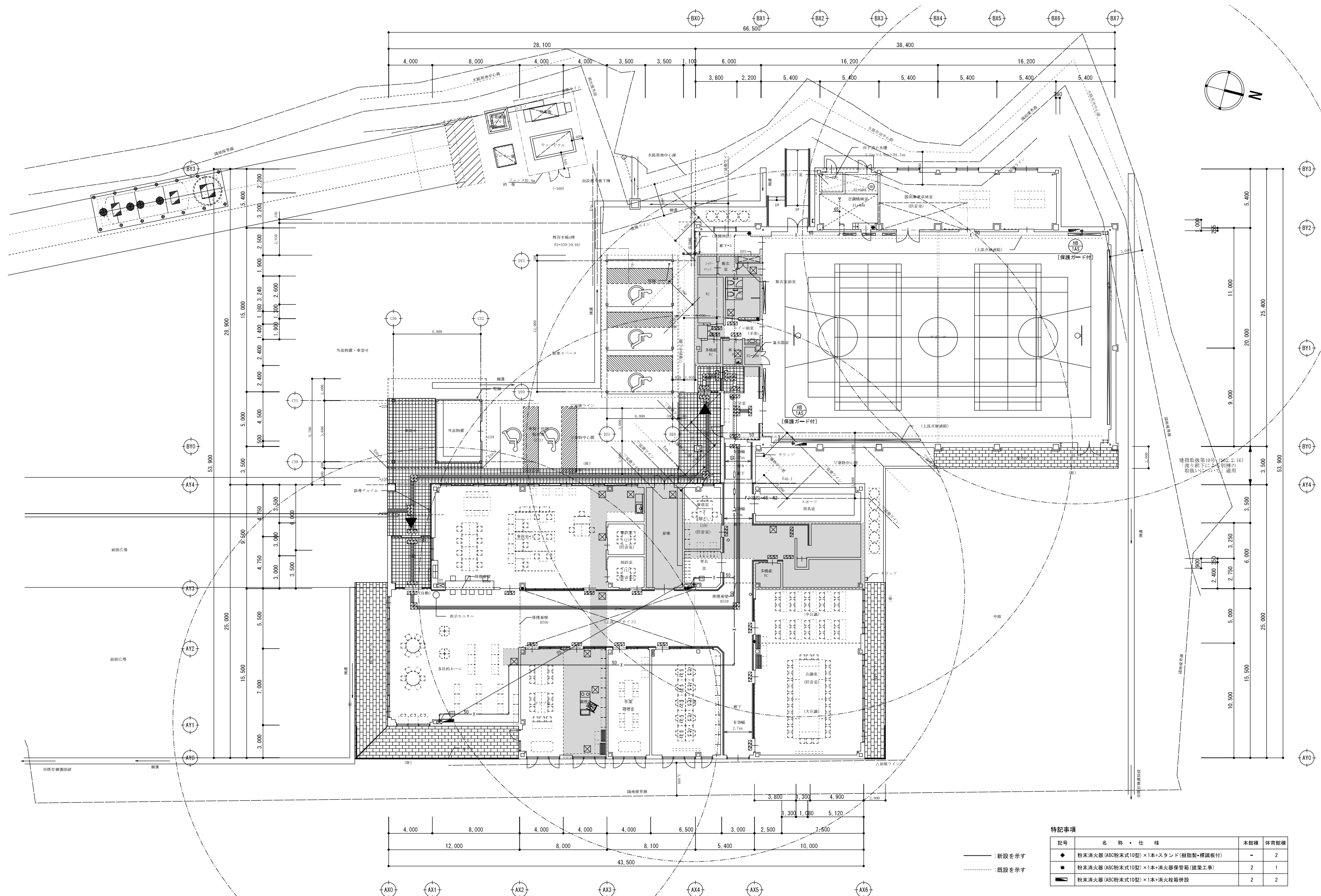
凡 例	
	※防火区画：(1500m2以内) LGS下地+強化石膏ボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174
	※防火上主要な間仕切壁： LGS下地+強化石膏ボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面二重張り) 1時間耐火：FP060NP-0174

平面詳細図一(3) S=1/50

WHE-2 廻り	× 6
吸気弁付き止水栓-20	1
フラッシュバルブ-15 水・湯	2

水抜栓	
電動三方水抜栓-25(女子トイレ)	1
電動三方水抜栓-25(男子トイレ)	1
電動三方水抜栓-20(多機能トイレ)	1
間接排水口-50	1
電動水抜栓操作部(3台用)	1

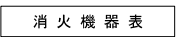
※電動水抜栓操作部の取付=自動制御設備工事



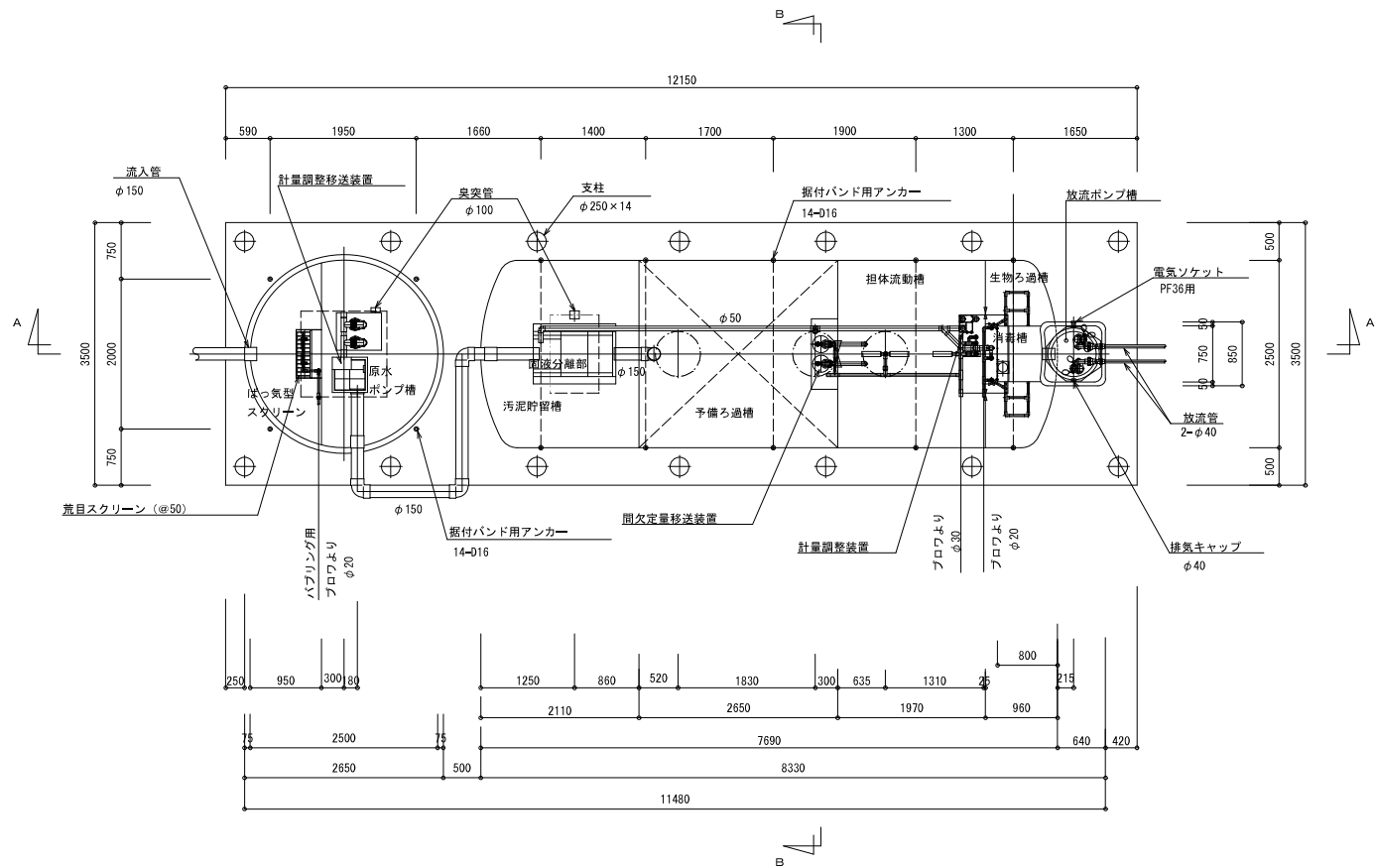
1階平面図 S=1/150

特記事項			
記号	名 称 ・ 仕 様	本館棟	体育館棟
◆	粉末消火器 (ABC粉末式10型) × 1本・スタンド (樹脂製・標識板付)	-	2
■	粉末消火器 (ABC粉末式10型) × 1本・消火器保管箱 (建築工事)	2	1
■	粉末消火器 (ABC粉末式10型) × 1本・消火栓箱併設	2	2

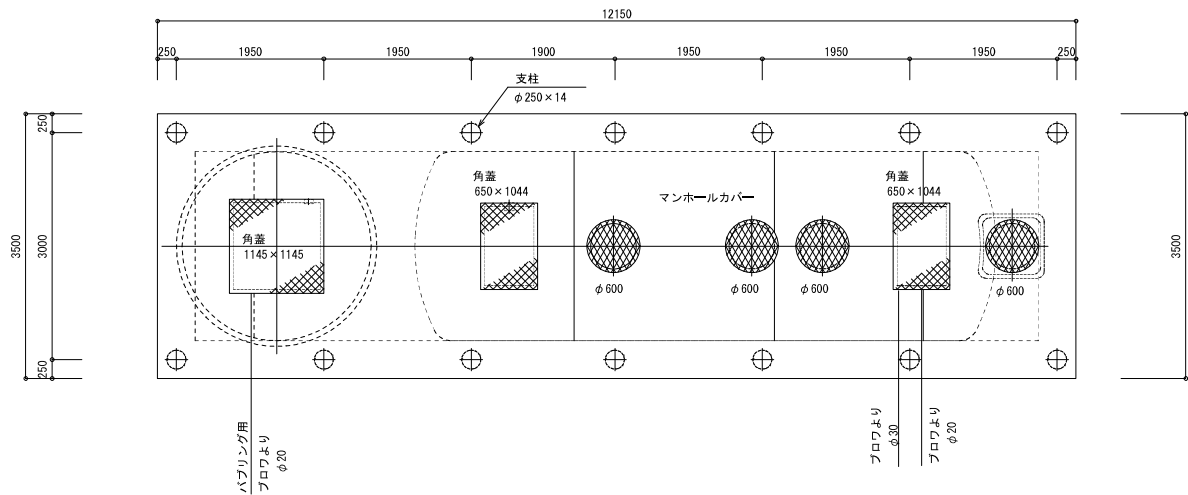
— : 新設を示す
- - - : 既設を示す



※本工事では本館棟を対象とする。



平面図 S=1/50



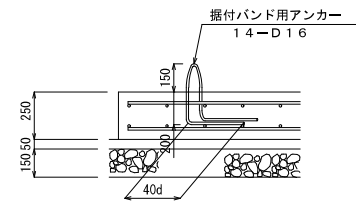
スラブ平面図 S=1/50

建築基準法第68条の2第1項の規定に基づき、同法施行令第35条	
第1項の大臣認定による固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式	
処理対象人員	150人
日平均汚水量	26m ³ /日
流入BOD	200mg/L
放流BOD	20mg/L

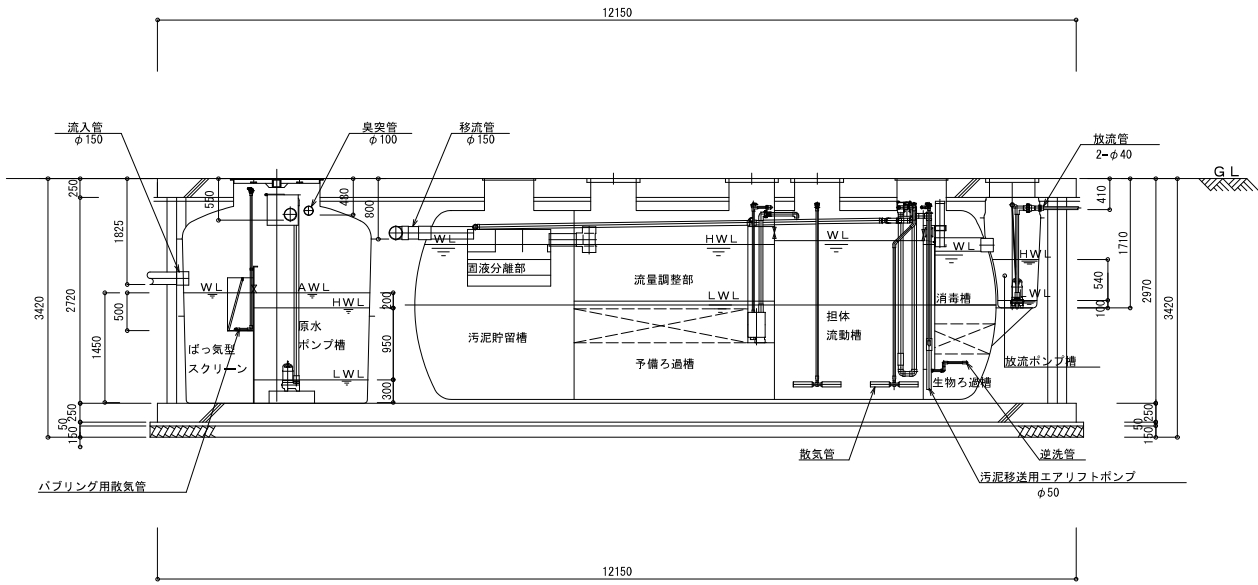
容量表	
<項目>	<設計容量/m ³ >
ばっ気型スクリーン	2,204
原水ポンプ槽	2,814
原水ポンプ槽総容量	5,018
<項目>	<設計容量/m ³ >
汚泥貯留槽	8,347
(固液分離部)	(0,289)
予備ろ過槽	11,415
(流量調整部)	(4,580)
担体流動槽	8,671
生物ろ過槽	2,994
消毒槽	0,399
放流ポンプ槽	0,194
浄化槽総容量	32,020

機器仕様表					
機器名	口径	出力 kw	相・電圧	吐出量 m ³ /min	台数
ばっ気用ブロウ	32A	0.75	三相・200V	0.77	2
バブリング用ブロウ	20A	0.20	三相・200V	0.12	1
原水ポンプ	50A	0.15	三相・200V	0.10	2
放流ポンプ	40A	0.15	三相・200V	0.08	2
電磁弁	20A	0.01	単相・200V		1

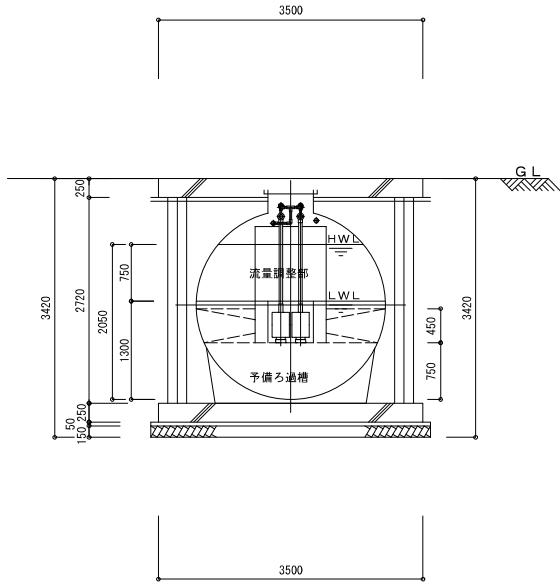
※管理用水栓は10m以内に設置すること
※金高にはかさ上げ200H含む



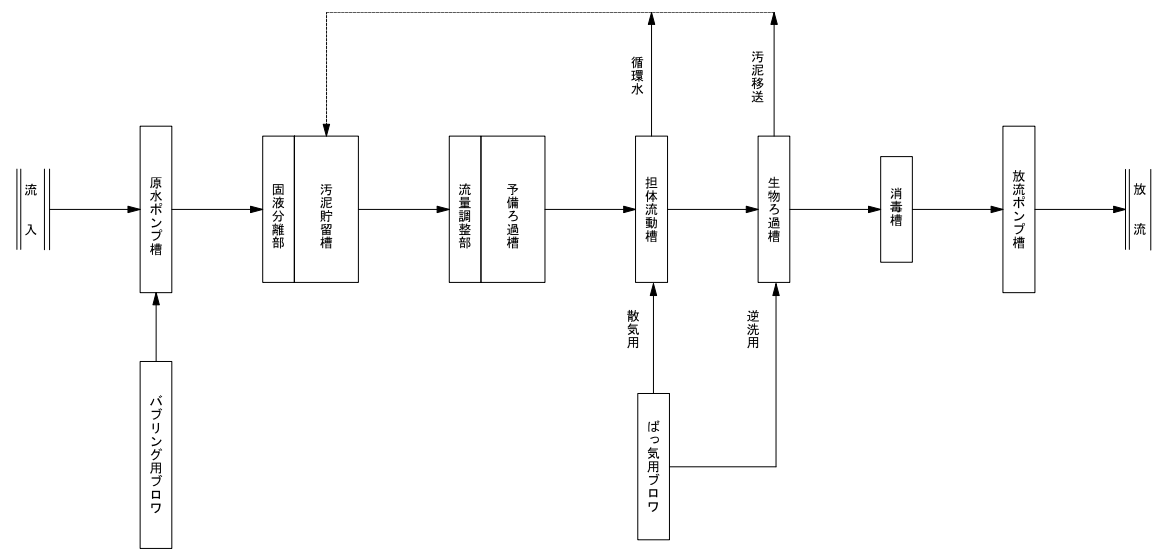
据付バンド用アンカー詳細 S=1/20



A-A 断面図 S=1/50



B-B 断面図 S=1/50



フローシート

上蓋仕様表					
名称	寸法	数量	材質	安全荷重	備考
マンホールカバー	φ 6 0 0	4	鉄鉄	T-15	ボルト締め
角 蓋	6 5 0 × 1 0 4 4	2			
	1 1 4 5 × 1 1 4 5	1			

配筋仕様表				
名 称	寸法 mm	配 筋 仕 様		
スラブ	厚250	主筋	D16	@150 ダブル
		配力筋	D16	@150 ダブル
底 版	厚250	主筋	D13	@150 ダブル
		配力筋	D13	@150 ダブル
支 柱	φ 250	主筋	6-D13	
		フープ	D10	@100
梁	D 250 b 500	主筋	5-D16	

開口部補強筋

40d

40d

40d

40d

40d

40d

タテ筋

1-D16 (上・下筋共)

ヨコ筋

1-D16 (上・下筋共)

ナナメ筋

1-D13 (上・下筋共)

使用材料共通事項	
材料名称	強度 または 種類
鉄筋コンクリート	F c : 21 N/mm ²
無筋コンクリート	F c : 18 N/mm ²
均しコンクリート	F c : 18 N/mm ²
鉄 筋	S D 2 9 5 A

※土工事及びコンクリート工事は建築工事



株式会社 八洲建築設計事務所
YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS

一級建築士284561号 鈴木雄二

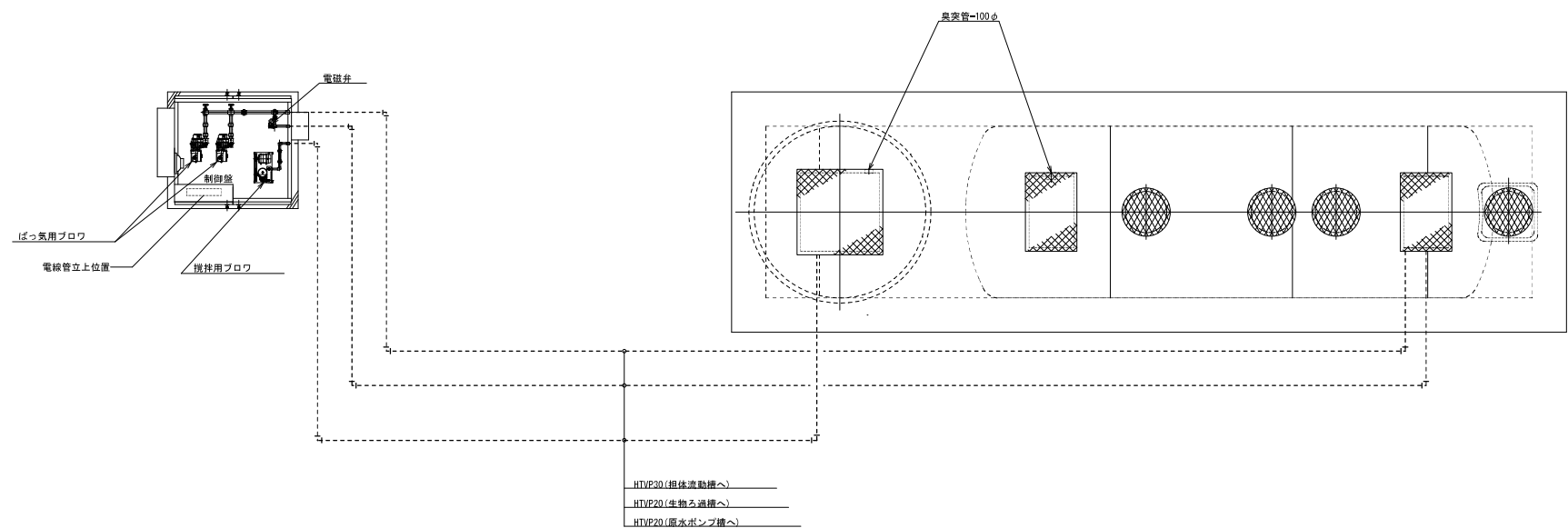
障がい者交流センターねむのき会館（仮称）
（本館）改築機械設備工事

給排水衛生設備 浄化槽 参考図（2）

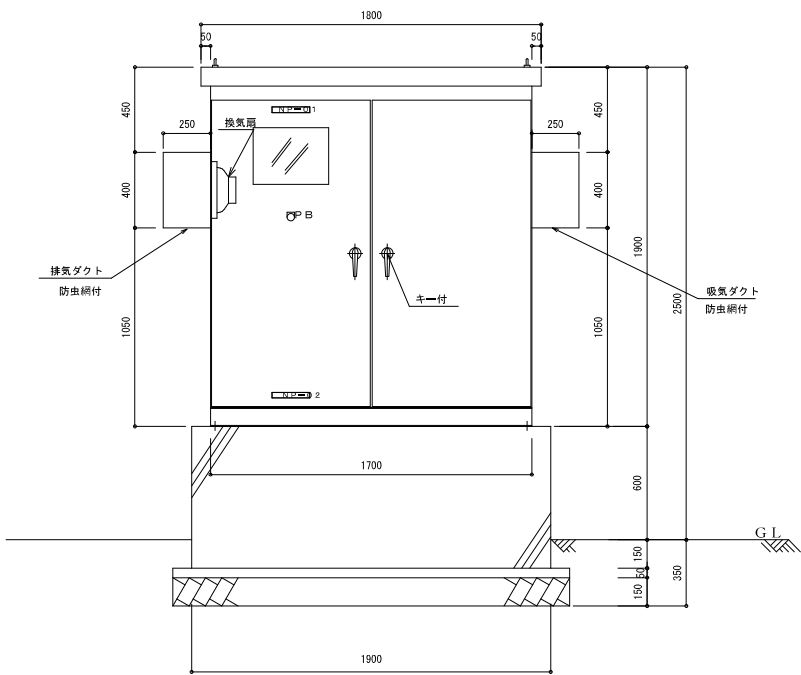
SCALE A1 : 1/50 (A3 : 1/100)

DATE

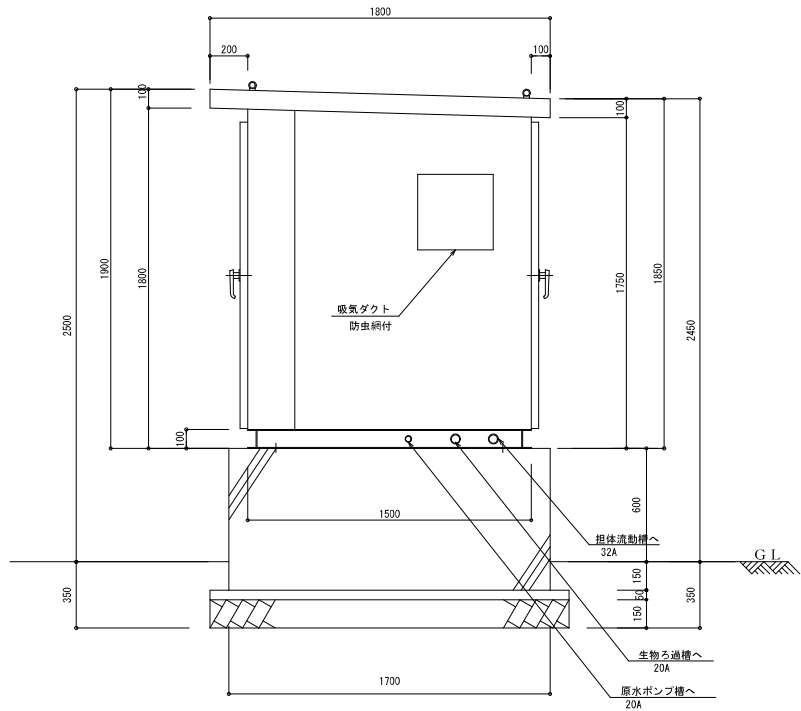
2023.03



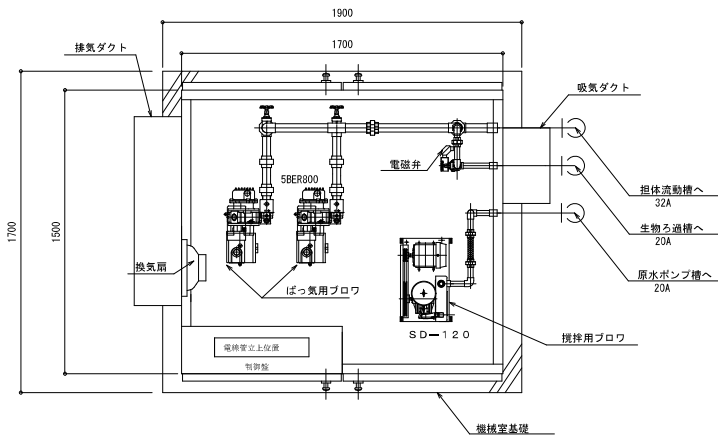
設備外構図 S=1/50



BOX 前面



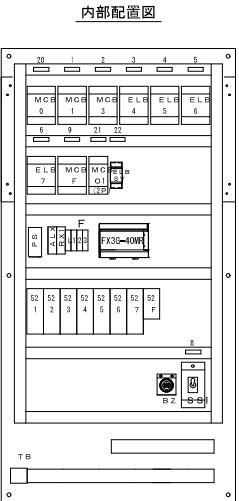
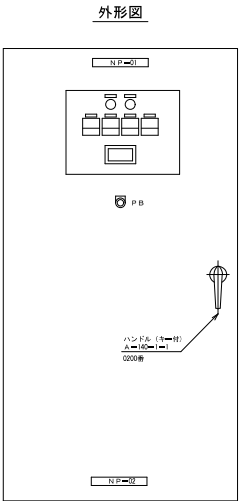
BOX 右側面



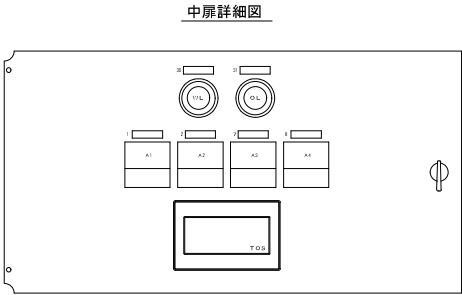
BOX 平面

本 体 仕 様	
1. 構 造	屋 外 自 立 防 水 型
2. 材 料	S P H C t = 2 . 3
	1 0 0 × 5 0 チ ャ ン ネ ル
3. 塗 装 色	中 外 共 マ ン セ ル 5 Y 7 / 1 重 耐 塩 塗 装
4. 防 音 材	内 部 グ ラ ス ウ ール 3 2 K (2 5 t)

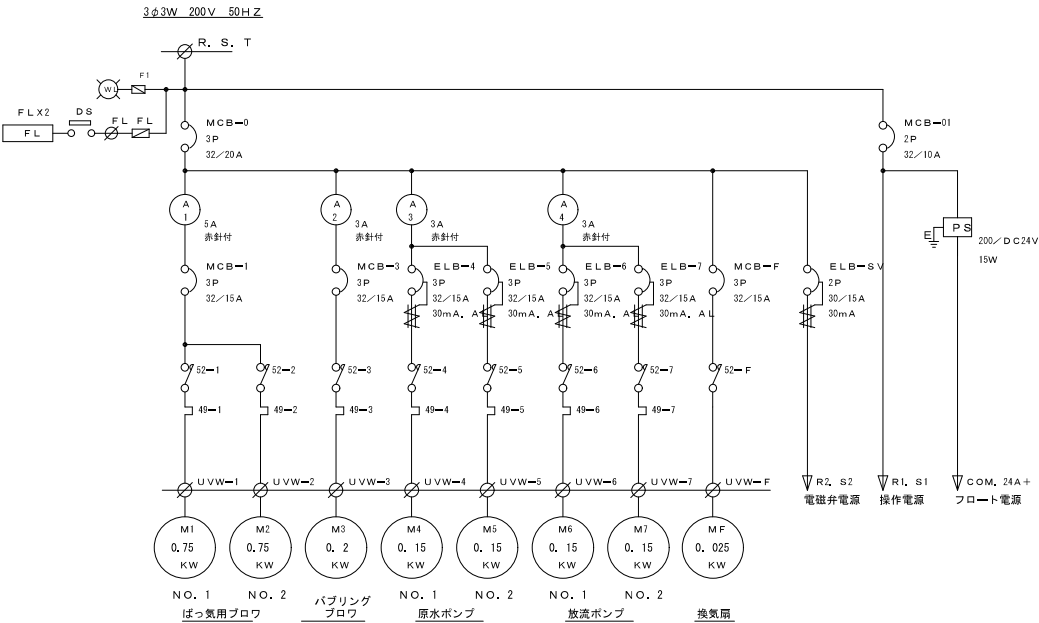
特 記 事 項	
1.	換気扇は、サーモを付属する。
2.	ブロウは、配管及び電磁弁を含む。
3.	ブロウは、防振ゴムにて取付。
4.	積雪仕様
5.	基礎は建築工事とする。



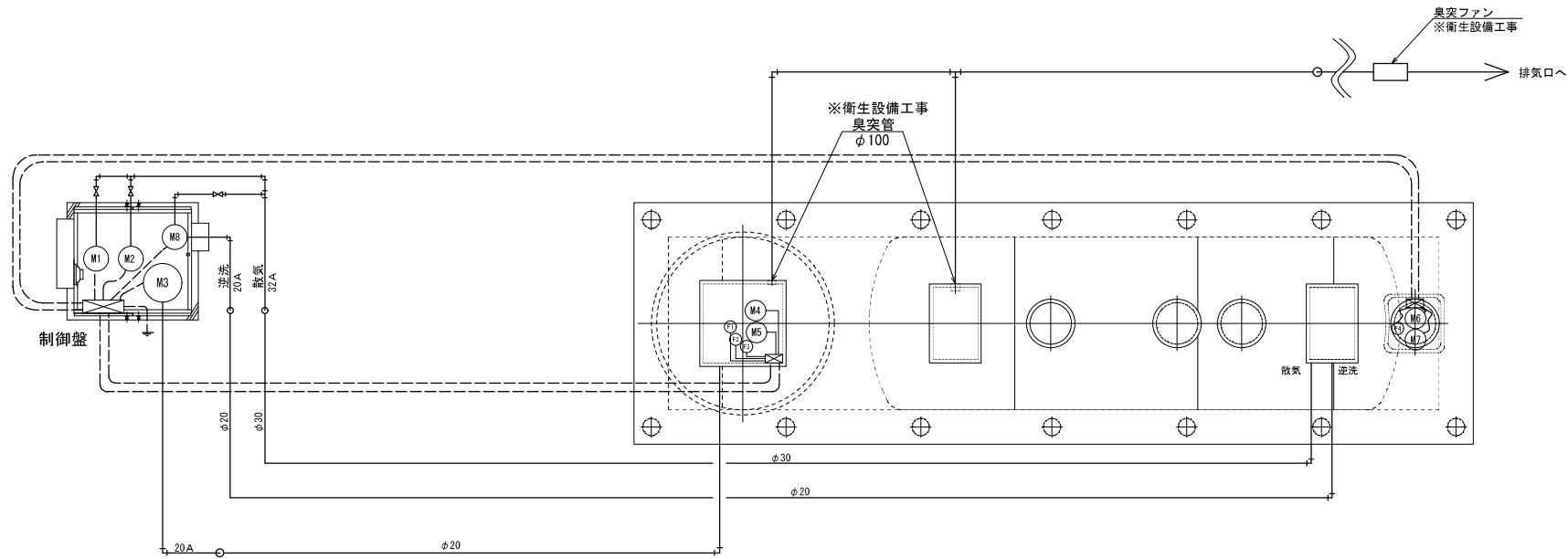
銘 板 表	
記号	名 称
NP-01	汚水処理制御盤
NP-02	施工業者名
1	ばっ気用ブロウ
2	バブリングブロウ
3	NO. 1 原水ポンプ
4	NO. 2 原水ポンプ
5	NO. 1 放流ポンプ
6	NO. 2 放流ポンプ
7	原水ポンプ
8	放流ポンプ
9	換気扇
20	主幹
21	操作電源
22	電磁弁電源
30	電源
31	一括警報
SS1	非常 入 切
PB	警報停止



操作盤姿図 S=NON



単線結線図



機 器 負 荷 仕 様 表					
記 号	機 器 名 称	出 力	電 圧	電 線	電線管 (参考)
M 1	ばっ気用ブロワN o. 1	0. 7 5 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 4 C	P F 2 2
M 2	ばっ気用ブロワN o. 2	0. 7 5 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 4 C	P F 2 2
M 3	バブリング用ブロワ	0. 2 0 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 4 C	P F 2 2
M 4	原水ポンプN o. 1	0. 1 5 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 4 C	P F 2 8
M 5	原水ポンプN o. 2	0. 1 5 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 4 C	
M 6	放流ポンプN o. 1	0. 1 5 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 4 C	P F 3 6
M 7	放流ポンプN o. 2	0. 1 5 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 4 C	
M 8	電磁弁	0. 0 1 k w	2 0 0 V	C V 2 □ - 2 C	P F 2 2
F 1 ~ 3	フロートスイッチ (原水)	—	2 4 V	C V V 2 □ - 4 C	P F 2 2
F 4	フロートスイッチ (放流)	—	2 4 V	C V V 2 □ - 2 C	P F 2 2
制御盤接地線 (D種)		—	—	—	—

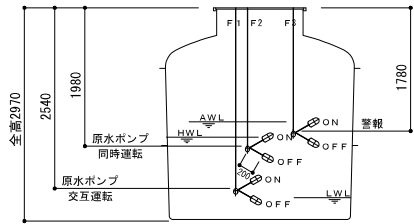
※エア配管はメイン管を散気へ、電磁弁配管側を逆洗へ正しく配管して下さい。
※臭突管は立ち上げ位置に向かって上り勾配になるようにして下さい。

————— (実線) エア配管
----- (1点鎖線) 動力配線

特 記 事 項

- 1 ブルボックスを使用する場合は防水型とする。
- 2 一次側及び外部警報用配線配管工事は別途工事とする。
- 3 電磁弁は必ず本体が水平 (コイルが垂直) になるように取付けること。

電 気 工 事 図 S=1/50



原水ポンプ槽 (フロート : R F - 5)



放流ポンプ槽 (フロート : M F - 3 A)

フロート位置参考図

※かさ上げ200H含む